

平成29年度第1回さいたま市がん対策推進協議会

次 第

日時：平成29年5月18日（木）

13時30分から15時00分まで

場所：さいたま市役所

議会棟2階 第4委員会室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) さいたま市がん対策推進計画の進行管理について
- (2) がん患者の状況に応じた支援体制の充実について
- (3) その他

4 閉 会

さいたま市がん対策推進協議会委員名簿

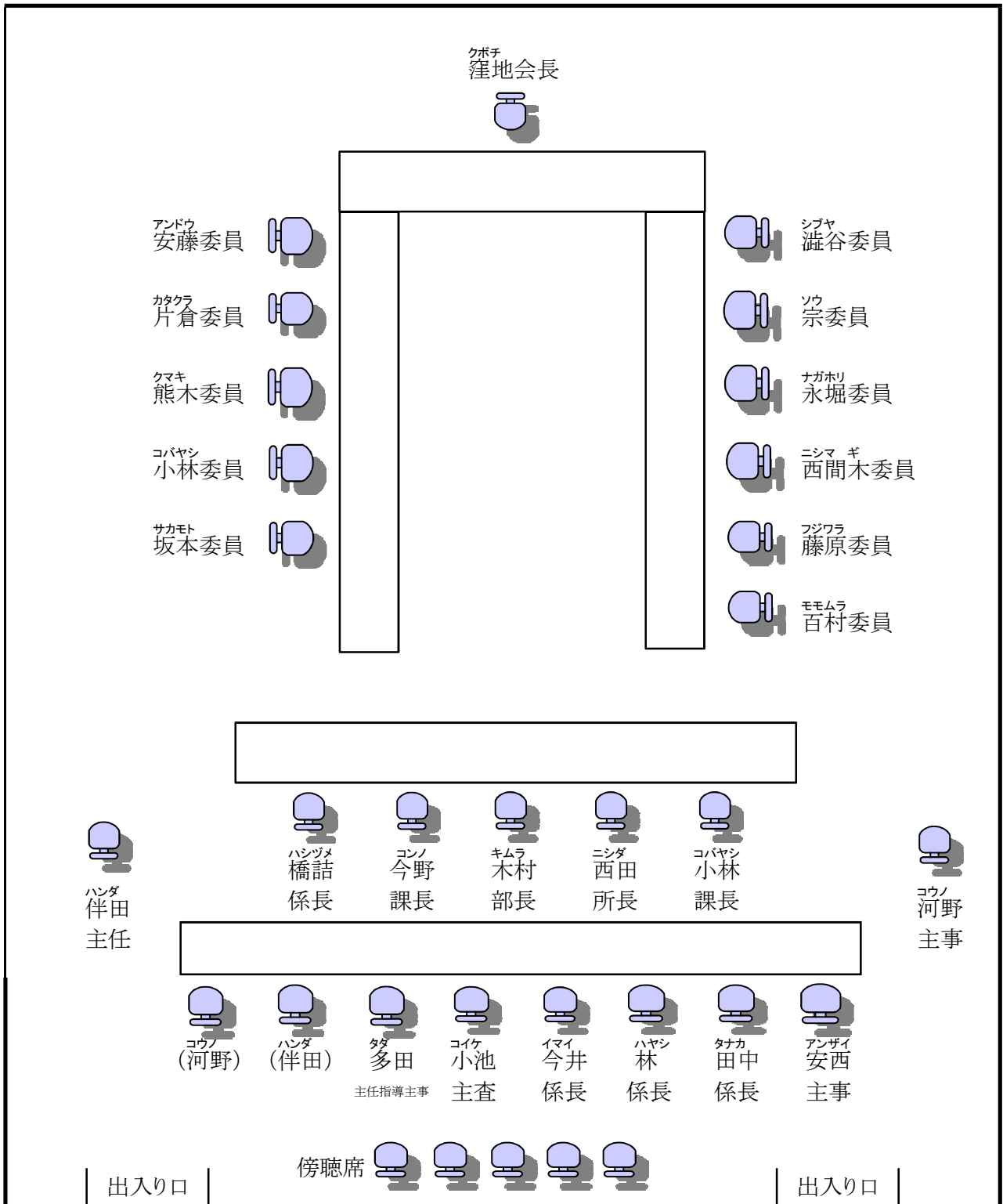
(平成 28 年 10 月 1 日から平成 30 年 9 月 30 日まで)

平成 29 年 4 月 11 日現在

	氏 名	所 属
1	あんどう あきひこ 安藤 昭彦	さいたま赤十字病院 院長
2	かたくら ふみこ 片倉 扶美子	一般社団法人 埼玉県訪問看護ステーション協会 理事
3	くぼち きよし 窪地 淳	さいたま市立病院 院長
4	くまき こうこ 熊木 孝子	公益社団法人 埼玉県看護協会 会長
5	くわばら さかえ 桑原 栄	さいたま市歯科医師会 副会長
6	こばやし けんじゅ 小林 憲樹	一般社団法人 さいたま市薬剤師会 常務理事
7	さかもと ひろひこ 坂本 裕彦	埼玉県立がんセンター 病院長
8	しぎや じゅんいち 澁谷 純一	さいたま市 4 医師会連絡協議会 議長 一般社団法人 さいたま市与野医師会 会長
9	そう あやこ 宗 綾子	Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～ (患者団体)
10	ながほり しょういち 永堀 昌一	さいたま労働基準監督署 署長
11	にしまぎ みきこ 西間木 幹子	社会福祉法人 さいたま市社会福祉協議会 浦和区事務所 所長
12	はっとり まどか 服部 圓	さいたま商工会議所女性会 会長
13	ふじわら けいこ 藤原 恵子	市民公募委員
14	もむら しんいち 百村 伸一	自治医科大学附属さいたま医療センター センター長
15	やなせ はるお 柳瀬 晴夫	市民公募委員

(五十音順、敬称略)

平成29年度 第1回さいたま市がん対策推進協議会 座席表



日時:平成29年5月18日(木)13時30分～15時00分

場所:さいたま市役所 議会棟2階 第4委員会室

平成29年度第1回さいたま市がん対策推進協議会
関係課職員名簿

所属	役職	氏名
保健部	部長	木村 政夫
保健所	所長	西田 道弘
介護保険課		欠席
いきいき長寿推進課	主査	小池 優香
労働政策課	係長	今井 繁
教育委員会 指導1課	主任指導主事	多田 嘉典
教育委員会 健康教育課		欠席
西区役所保健センター	係長	林 夏奈
市立病院 庶務課		欠席
地域医療課	係長	田中 聡
地域保健支援課	課長	小林 裕子
	主事	安西 智明
健康増進課	課長	今野 弘美
	係長	橋詰 美加
	主任	伴田 さち
	主事	河野 凜太郎

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進		
(2)目標		がん予防の推進		
(3)分野別施策		がんに関する正しい知識の普及		
		27年度	28年度	29年度～(35年度)
取組事例	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○リレーフォーライフ ○ピンクリボン運動推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○リレーフォーライフ ○ピンクリボン運動推進 ○月1度の体験者対象おしゃべり会 ○乳がん専門医による講演会 ○体験者対象のイベント各種 ○不定期再発転移の方のおしゃべり会 	<ul style="list-style-type: none"> ○リレーフォーライフ ○月1度の体験者対象おしゃべり会 ○不定期再発転移の方のおしゃべり会 ○体験者対象のイベント各種
	事業者		<ul style="list-style-type: none"> ●会報誌へのがん検診受診勧奨記事の掲載 ○定期健康診断 ○産業医による個別健康教育 	<ul style="list-style-type: none"> ●総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知
	保健医療関係者		<ul style="list-style-type: none"> ○全体研修:がん患者と家族の心のケア ○全体研修:がん患者に対する手術療法 ○全体研修:がん患者に対する放射線療法 ○全体研修:がん化学療法の基礎知識と看護 ○ターミナルケアについての研修会企画 ○口腔がんに対する教育・啓蒙 ○口腔がん検診 ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者サロン(はなみずき会) ○告知後の患者支援 ○がん相談支援センターの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん診療連携セミナーの開催 ○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会) ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がん相談支援センターの活用 ○口腔がん検診 ○がん患者に対する手術療法 ○がん患者に対する放射線療法 ○がん化学療法の基礎知識と看護 ○がん患者と家族の心のケア ○がん患者の退院支援と地域連携 ○がん性疼痛の理解と看護
	市	<ul style="list-style-type: none"> ○リレーフォーライフ ○ピンクリボン運動推進 ○ヘルスプラン21(第2次) ○特定健康診査(国保) ○さいたま市がん検診 ○体育・保健体育の授業においてがん教育の実施 ○各保健センターの各種健康教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童センター、子育て支援センター、市立幼稚園での健康講座の中で保護者に対して乳がん検診(自己検診法を含む)の説明 ●がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする? ~ 不安を抱える社員に会社はなにができるか~ ●がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする? ~ 住み慣れた我が家で受けられる支援&ケアを知らう~ ○リレーフォーライフ ○ピンクリボン運動推進 ○ヘルスプラン21(第2次) ○特定健康診査(国保) ○さいたま市がん検診 ○養護教諭研修会「さいたま市のがんの現状について」 ○保健学習の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○乳がん検診・子宮頸がん検診無料クーポン券の送付 ○市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨 ○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○駅前での啓発活動 ○乳がんについての講話(依頼教育) ○女性のがんについての講話(教室内) ○がん精検未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談 ○商業施設においてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○がん検診の啓発グッズの作成 ○区役所内コーナーにてがん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布 ○佐藤興産、三橋1丁目自治会共催区教育 ○大宮区自転車ツー・ロック促進啓発キャンペーン ○食品衛生協会加入者で、検便容器受け渡しされる方イベントにおける普及啓発活動 ○禁煙週間による肺チェッカー測定 ○保健センター事業にて、がん検診受診について講話 ○他機関主催のイベント等でのがん検診啓発 ○ピンクリボン運動 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童センターでの乳がん・子宮がんの健康教育 ●児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施 ●体組成測定会でのがん予防・検診PRコーナーの設置 ○保健学習の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨 ○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○がん検診受診勧奨 ○駅前での啓発活動 ○女性のがんについての講話(教室内) ○がん精検未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談(随時) ○がん検診の啓発グッズの作成ポスター、チラシ等 ○普及啓発活動(ツーロックキャンペーン、民生委員協議会、区民感謝デー、少年少女サッカー教室、検便会場、税申告会場) ○【商業施設におけるがん検診受診勧奨】 ○大宮高島屋にがん検診受診勧奨のアナウンス(H29.4~ 1日4回放送) ○ピラティスにて、子宮頸がんについて講話実施 ○アロマストレッチにて、がん検診受診について講話実施 ○保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。 ○保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 ○乳がん月間に保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区民ふれあいまつりにて乳がん自己検診法についての啓発。女性向けの教室開催時に女性特有のがんについてのミニ講話を実施。 ○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○エレベーターホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示 ○女性の健康週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。 ○市報にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発 ○区立幼稚園・小中学校の保護者向け教育で、乳房自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨 ○区役所ロビー、保健センターロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示 ○浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、がん検診の普及啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供 ○庁舎内の健康啓発コーナーにおける、がん検診受診に関する啓発媒体の展示 ○禁煙相談の実施 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義 ○緑区区民まつりにてがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布、乳がん自己触診体験など ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○他機関主催イベント等での検診受診勧奨およびがん知識の啓発 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする?
●新規事業				
○継続事業				

さいたま市がん対策推進計画進行管理表

(4) 評価指標		ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)	全体(男性・女性)	79.6(H25)	下がる		78.1(H26)	
	男性	100.3(H25)	下がる		96.7(H26)	
	女性	59.9(H25)	下がる		61.1(H26)	
(モニタリング)SMR(標準化死亡率比全国を1としたとき)	男性	0.93(H20-24)	—		0.95(H26)	
	女性	0.95(H20-24)	—		1.00(H26)	
特定健康診査の受診率	35.1%(H26)	60%		35.1%(H26)	36.5%(H27)	
特定保健指導の実施率	31.1%(H26)	60%		31.1%(H26)	27.4%(H27)	
毎日、三食野菜を食べている人の割合	16歳未満	29.1%(H23)	増える		平成29年秋に算出予定	
	40～60歳男性	21.7%(H23)	30%以上		18.9%	
	40～60歳女性	28.2%(H23)	30%以上		28.4%	
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がある割合	56.6%(H24)	65.0%			50.9%	
生活習慣のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合(1日当たりの純アルコール摂取量 男性60g 女性20g)	成人男性	4.9%(H24)	2.8%以下		6.3%	
	成人女性	19.7%(H24)	6.4%以下		18.7%	
	40歳代男性	8.8%(H24)	4.6%以下		7.9%	
	50歳代男性	10.0%(H24)	5.6%以下		7.8%	
	20～30歳代女性	4.6%(H24)	0.2%以下		2.2%	
1日1時間以上歩く人の割合	男性	34.0%(H24)	44%		35.1%	
	女性	29.0%(H24)	38%		29.3%	
運動習慣のある人の割合(30分、週2回以上の運動を継続している人)	男性	31.0%(H24)	41%		31.9%	
	女性	25.6%(H24)	35%		24.8%	
	20～64歳男性	21.8%(H24)	32%		24.5%	
	20～64歳女性	19.9%(H24)	30%		18.8%	
	65歳以上男性	38.1%(H24)	48%		31.0%	
	65歳以上女性	32.9%(H24)	43%		31.1%	
主な成果・課題					<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者、保健医療関係者、市それぞれが生活の様々な場面や広報誌において幅広い世代の市民向けにがんに関する情報発信をしている。 ・がんに対する正しい知識を広めていくためには、学齢期からの教育が重要であり、それを実現していくことが課題となっている。 	平成30年春に記入予定

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進				
(2)目標		がん予防の推進				
(3)分野別施策		受動喫煙の防止と禁煙				
		27年度	28年度	29年度～(35年度)		
取組事例	市民					
	事業者		○全国労働衛生週間準備期間及び各種集団指導、説明会等における事業場への周知	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知 ○敷地内での分煙		
	保健医療関係者		○屋上を含む病院館内および敷地内の全面禁煙 ○喫煙者率調査の実施 ○敷地内全面禁煙 ○禁煙外来の開設	○喫煙者率調査の実施 ○敷地内全面禁煙 ○禁煙外来の開設 ○屋上を含む病院館内および敷地内の全面禁煙		
	市	○ヘルスプラン21(第2次) ○各種保健事業やイベント ○禁煙治療外来の紹介、禁煙希望者への相談支援 ○学習指導要領に沿って喫煙防止に関する健康教育	●がん対策に関する講演会 ●職員健康増進研修(禁煙セミナー) ○ヘルスプラン21(第2次) ○さいたま市がん検診 ○禁煙治療外来の紹介、禁煙希望者への相談支援 ○学習指導要領に沿って喫煙防止に関する健康教育 ○保健学習の実施 ○がん検診受診勧奨 ○女性のがんについての講話(教室内) ○商業施設においてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○禁煙週間による肺チェック測定 ○禁煙週間の取り組み ○区役所内コーナーにてがん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布 ○保健センター事業にて、がん検診についてパンフレット配布、禁煙について講話 ○他機関主催のイベント等でのがん検診啓発 ○禁煙外来リスト作成・配布 ○地図情報システムへ禁煙外来医療機関の掲載	●体組成測定会でのがん予防・検診PRコーナーの設置 ○がん検診受診勧奨 ○女性のがんについての講話(教室内) ○普及啓発活動(ツーロックキャンペーン、民生委員協議会、区民感謝デー、少年少女サッカー教室、検便会場、税申告会場) ○禁煙週間の取り組み(禁煙対策特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動) ○禁煙相談・COモニター測定(呼気一酸化炭素濃度測定) ○保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。 ○保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 ○禁煙週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。保健センターで希望者にスモーカーライザーによる測定を実施。 ○市報校区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発 ○区内幼稚園・小中学校の保護者向け教育で、乳房自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨 ○区役所ロビー・保健センターロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示 ○浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供 ○禁煙相談の実施 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○他機関主催イベント等での検診受診勧奨およびがん知識の啓発 ○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○禁煙外来リスト配布 ○地図情報システムへ禁煙外来医療機関の掲載		
(4)評価指標	ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)	
受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	2.3% (H24)	0%		1.5%	
	医療機関	1.2% (H24)	0%		1.4%	
	職場	20.5% (H24)	受動喫煙のない職場の実現		18.7%	
	家庭	17.6% (H24)	3%		13.9%	
	飲食店	36.8% (H24)	15%		34.6%	
	学校	2.7% (H24)	小学校、中学校、高校以外の受動喫煙のない環境		2.0%	
	遊技場	11.5% (H24)	減らす		9.6%	
成人の喫煙率	成人男性	24.8% (H24)	18%		23.2%	
	成人女性	9.3% (H24)	5%		5.9%	
未成年者の喫煙率	1.5% (H24)	なくす		1.0%		
主な成果・課題			・市の事業を通し、妊娠中の母親や不特定多数の人が集まる場所において受動喫煙に関する情報を提供することで幅広い世代の啓発につながっている。 ・公共機関だけでなく医療機関や事業所において受動喫煙防止に関する情報が周知され始めたことで、敷地内・全面禁煙の動きが広がってきている。	平成30年春に記入予定		

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進					
(2)目標		がんの早期発見の推進					
(3)分野別施策		がん検診の受診率の向上					
		27年度		28年度		29年度～(35年度)	
取組事例	市民						
	事業者			<ul style="list-style-type: none"> ●会報誌へのがん検診受診勧奨記事の掲載 ○生活習慣病予防検診の受診費用助成 		<ul style="list-style-type: none"> ●総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知 	
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ○検診実施医療機関においての受診勧奨、経年受診の啓発 ○店頭や市民公開講座などにおいて検診の重要性を伝える 		<ul style="list-style-type: none"> ○口腔がん検診 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○公開講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 	
	市	<ul style="list-style-type: none"> ○ヘルスプラン21(第2次) ○各種保健事業やイベント ○がん検診の未受診者に対する受診勧奨 ○さいたま市がん検診の個別検診 ○リレーフォーライフ ○ピンクリボン運動推進 		<ul style="list-style-type: none"> ●児童センター、子育て支援センター、市立幼稚園での健康講座の中で保護者に対して乳がん検診(自己検診法を含む)の説明 ○ヘルスプラン21(第2次) ○リレーフォーライフ ○ピンクリボン運動推進 ○さいたま市がん検診 ○がん検診対象初年度無料事業制度の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○乳がん検診・子宮頸がん検診無料クーポン券の送付 ○市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨 ○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○がん検診受診勧奨 ○駅前での啓発活動 ○子育て支援センターにて乳がんについての講話(依頼教育) ○がん精検未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談 ○商業施設においてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○女性のがん検診啓発チラシの配布 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○がん検診の啓発グッズの作成 ○区役所内コーナーにてがん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布 ○商業施設におけるがん検診受診勧奨 ○佐藤興産、三橋1丁目自治会共催地区教育 ○大宮区自転車ツー・ロック促進啓発キャンペーン ○食品衛生協会加入者で、検便容器受け渡しされる方イベントにおける普及啓発活動 ○禁煙週間による肺チェッカー測定 ○保健センター事業でのがん検診等について、講話や啓発パンフレット、ティッシュ配布 ○他機関主催のイベント等でのがん検診啓発 		<ul style="list-style-type: none"> ●児童センターでの乳がん・子宮がんの健康教育 ●インナーマッスル教室にて、がん検診受診について講話実施 ●児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施 ●体組成測定会でのがん予防・検診PRコーナーの設置 ○がん検診対象初年度無料事業制度の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨 ○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○がん検診受診勧奨 ○駅前での啓発活動 ○女性のがんについての講話(教室) ○がん精検未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談(随時) ○がん検診の啓発グッズの作成ポスター、チラシ等 ○普及啓発活動(ツーロックキャンペーン、民生委員協議会、区民感謝デー、少年少女サッカー教室、検便会場、税申告会場) ○【商業施設におけるがん検診受診勧奨】 ○大宮高島屋にがん検診受診勧奨のアナウンス(H29.4～1日4回放送) ○教室中でのがん検診勧奨 ○育児相談にて、がん検診等についてのパンフレット、ティッシュ配布 ○ピラティスにて、子宮頸がんについて講話実施 ○アロマストレッチにて、がん検診受診について講話実施 ○がん検診受診勧奨用ポスター掲示 ○がん検診受診勧奨用ティッシュ配布 ○保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。 ○保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 ○乳がん月間に保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区民ふれあいまつりにて乳がん自己検診法についての啓発。女性向けの教室開催時に女性特有のがんについてのミニ講話を実施。 ○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○女性の健康週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー(区役所1階・3階)等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発 ○区内幼稚園・小中学校の保護者向け教育で、乳房自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨 ○区役所ロビー・保健センターロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示 ○浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、がん検診の普及啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供 ○庁舎内の健康啓発コーナーにおける、がん検診受診に関する啓発媒体の展示 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置 ○緑区区民まつりにてがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布、乳がん自己触診体験など ○市区報等へのがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事の掲載 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○他機関主催イベント等での検診受診勧奨およびがん知識の啓発 ○女性のがん検診啓発チラシの配布 ○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)		
がん検診受診率	肺がん検診	33.8% (H26)	40%以上	34.3%	平成29年6月に算出予定		
	大腸がん検診	31.1% (H26)	40%以上	32.0%			
	胃がん検診	23.9% (H26)	40%以上	24.5%			
	乳がん検診	23.6% (H26)	40%以上	25.8%			
	子宮がん検診	30.3% (H26)	40%以上	30.7%			
主な成果・課題				<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い市民の目に留まりやすい場所や機会を利用して、様々な団体と協働しながらがん検診の受診に関する啓発が行われている。 ・がん検診の受診率は昨年に比べて上昇しているが、目標値にはまだ達していないため、未受診者への啓発を継続して実施することが必要である。 		平成30年春に記入予定	

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進				
(2)目標		がんの早期発見の推進				
(3)分野別施策		がん検診の質の向上				
		27年度	28年度	29年度～(35年度)		
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		***モニタリング*** さいたま市健康づくり及び食育についての調査より(調査対象15歳以上の市民) 学校、職場、市が実施する検査、その他個人的に人間ドックなどで『がん検診を受診した』と回答した割合 胃がん検診・・・43.9% 肺がん・結核健診・・・63.7% 大腸がん検診・・・50.8% 乳がん検診・・・42.3% 子宮がん検診・・・40.4% 前立腺がん検診・・・28.6% (※前立腺がん以外は平成24年度の同調査に比べ上昇している)			
	事業者					
	保健医療関係者		○検診実施医療機関参加による症例検討会や、医師会主催の医学会等によるがん検診の精度管理	○検診実施医療機関参加による症例検討会や、医師会主催の医学会等による		
	市	○さいたま市がん検診において要精密検査の市民に対する受診勧奨 ○国が示す指針を踏まえたさいたま市がん検診の実施	○さいたま市がん検診において要精密検査の市民に対する受診勧奨 ○国が示す指針を踏まえたさいたま市がん検診の実施 ○がん検診精検者未受診者フォロー(乳がん、子宮がん精検未受診者)	○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精検者未受診者フォロー(乳がん、子宮がん精検未受診者)		
(4)評価指標		ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
がん検診精密検査受診者の割合	肺がん検診	77.5% (H25)	90%以上	78.0%(H26)	平成29年6月に算出予定	
	大腸がん検診	68.36% (H25)	90%以上	68.6%(H26)		
	胃がん検診	79.09% (H25)	90%以上	79.9%(H26)		
	乳がん検診	90.43% (H25)	90%以上	91.8%(H26)		
	子宮がん検診	73.2% (H25)	90%以上	79.1%(H26)		
主な成果・課題						・がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者に対し、一定期間の後、受診勧奨を行うことでより受診につなげられるような仕組みが作られている。 平成30年春に記入予定

(1)基本方針		がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標		がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策		在宅医療の推進				
		27年度	28年度	29年度～(35年度)		
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民					
	事業者					
	保健医療関係者	○地域連携クリティカルパスの作成および活用 ○在宅診療を支援する多職種向けの研修会 ○カンファレンスの実施による人材育成 ○カンファレンスの実施による人材育成	○地域連携クリティカルパスの作成および活用 ○在宅診療を支援する多職種向けの研修会 ○カンファレンスの実施による人材育成 ○がん患者の退院支援と地域連携 ○事務局内にコールセンターを設置 ○ターミナルケアの訪問看護 ○がんセンター等の主催するがんの研修会に参加 ○ターミナルケアについての研修会企画 ○在宅医療支援薬局リストの作成 ○在宅医療に関わる薬剤師の研修会 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○退院調整看護師の活用 ○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携 ○在宅医療研修会の開催 ○「医療・介護・福祉」の研修会の開催 ○病診連携研修会の開催 ○在宅医療・介護連携推進事業業務 ○がんセンター地域緩和ケア勉強会等の会員周知・受講推進	●機能強化型STの育成 ●育成プログラム普及 ●最近のがん薬剤の研修会 ○コールセンターの設置・運営 ○ターミナルケアについての研修会企画 ○新しい在宅医療支援薬局リストの作成 ○在宅医療に関わる薬剤師の研修会 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○退院調整看護師の活用 ○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携 ○がん患者の退院支援と地域連携 ○在宅医療研修会の開催 ○「医療・介護・福祉」の研修会の開催 ○病診連携研修会の開催 ○在宅医療・介護連携推進事業業務		
	市	○がん診療連携拠点病院を中心としたがん医療の推進 ○介護保険サービスの福祉用具貸与(車いすや特殊寝台などについて末期がん患者に関して、必要性が認められれば利用可能としている)	●がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする? ～住み慣れた我が家で受けられる支援&ケアを知ろう～ ○がん診療連携拠点病院を中心としたがん医療の推進 ○介護保険サービスの福祉用具貸与(車いすや特殊寝台などについて末期がん患者に関して、必要性が認められれば利用可能としている) ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○在宅医療従事者研修会の開催	●医療・介護関係者の情報共有の支援 ●切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ●地域医療構想調整会議等の開催 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○MSW研修会の開催 ○がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする?		
(4)評価指標		ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
(モニタリング)在宅療養支援診療所・病院数		70 (H25)	—		160	
(モニタリング)がん患者の在宅看取り率		12.3 (H25)	—	12.0(H26)	15.1(H27)	
在宅療養を支える関係機関における研修や会議等を開催する団体数		—	増える		9	
主な成果・課題				・地域連携クリティカルパスを受け入れる医療機関が少ない ・研修会に関して地域医療従事者の参加者が少ない	・保健医療関係者の分野において、がん患者の退院支援に関する様々なテーマの研修が行われており、緩和ケアの質の向上につながっている。 ・保健医療関係者側が在宅医療を進める際に必要な情報(在宅医療支援薬局リスト等)を新たに作成しており、情報を必要としている市民が効率的に情報を集めることの一助となっている。	平成30年春に記入予定

(1)基本方針		がん医療の充実と療養生活の質の向上			
(2)目標		がん医療の充実と療養生活の質の向上			
(3)分野別施策		緩和ケアの充実			
		27年度	28年度	29年度～(35年度)	
取組事例	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ○がん患者への精神的緩和を図るレスパイト入院の受け入れ ○研修会の開催、受講 ○退院調整会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケアチーム 合同カンファレンス ○緩和ケア研修会 合同検討会議 ○緩和ケア研修5日間 2クール ○ターミナルケアの訪問看護 ○ターミナルケアについての研修会企画 ○在宅医療に関わる薬剤師の研修会 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○緩和ケアチームを組織 ○告知後の患者支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●機能強化型STの育成 ●最近のがん薬剤の研修会 ●緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○ターミナルケアについての研修会企画 ○在宅医療に関わる薬剤師の研修会 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修5日間 2クール ○緩和ケアチームを組織 ○緩和ケアチーム合同カンファレンス ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がんセンター地域緩和ケア勉強会等の会員周知・受講推進 	
	市	<ul style="list-style-type: none"> ○セカンドオピニオン、ペインクリニック等を提供している医療機関や緩和ケアに関する情報を専用ウェブを通じて提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする？～住み慣れた我が家で受けられる支援&ケアを知ろう～ ○セカンドオピニオン、ペインクリニック等を提供している医療機関や緩和ケアに関する情報を専用ウェブを通じて提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする？ 	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
院外における活動を実施する緩和ケアチーム数	—	増える		今後調査予定	
主な成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・院内で緩和ケアチームが活動しているが、他の業務と兼務であるため専従者を確保できていない ・緩和ケアの利用希望者は増加傾向にあるが看護師不足が深刻 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療関係者を中心に緩和ケアをテーマにした研修会やカンファレンスが実施されており、専門性の質の向上につながっている。 ・がん告知後の患者支援や緩和ケアを専門とするチームの活用は増えており、今後も緩和ケアに関する市民のニーズに合わせて対応していくことが望まれる。 ・緩和ケアに関する市民の理解を促進する取組が必要。 		平成30年春に記入予定
(1)基本方針		がん医療の充実と療養生活の質の向上			
(2)目標		がん患者の状況に応じた支援体制の充実			
(3)分野別施策		相談支援体制の活用			
		27年度	28年度	29年度～(35年度)	
取組事例	市民	<ul style="list-style-type: none"> ○患者会による勉強会、情報交換会、ニュースレター発行等 ○がん哲学外来 	<ul style="list-style-type: none"> ○患者会による勉強会、情報交換会、ニュースレター発行等 ○がん哲学外来 		
	事業者			<ul style="list-style-type: none"> ○罹患者への理解と業務の検討 ○産業医との面接・指導 	
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ○がん診療連携拠点病院等による小抗議、情報交換、意見交換等 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん診療連携拠点病院等による小講義、情報交換、意見交換等 ○がん相談 ○事務局内にコールセンターを設置 ○健康サポート薬局の育成 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者サロン(はなみずき会) ○がん相談支援センターの活用 ○就労支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●育成プログラムの普及 ○コールセンターの設置・運営 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の育成 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○緩和ケアチームを組織 ○がん相談 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 	
	市		<ul style="list-style-type: none"> ●がん患者就労相談 ●がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする？～不安を抱える社員に会社はなにができるか～ ○がん精検未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談 	<ul style="list-style-type: none"> ○主に女性社会保険就労士による相談 ○がん精検未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談 ○がん患者就労相談 	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患者及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する		地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2012」について、市ホームページで情報提供を実施した。	
主な成果・課題		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に向けた緩和ケア活動をどのように取り入れるかが課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者サロン等、当事者向けのグループ活動は医療機関および市民が主催するものがあり、患者および家族のつながりや支えとなるため、継続して開催しそれぞれの利点を活用することが重要になってくる。 ・在宅での療養生活をスムーズに開始するために、研修会や退院調整看護師の活用など、退院後の患者および家族支援を支援する取組が行われている。 ・市民に対しがん相談支援センターやがん在宅療養相談支援センター相談窓口の機能や活用方法について啓発が必要。 		平成30年春に記入予定

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん患者の状況に応じた支援体制の充実				
(3)分野別施策	情報提供の充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民	○市民活動団体とさいたま市が協働した闘病記リスト作成 ○がん哲学外来	○がん哲学外来		
	事業者		○全国労働衛生週間準備期間及び各種集団指導、説明会等における事業場への周知		○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知
	保健医療関係者		○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、図書コーナーの整備 ○在宅医療支援薬局リストの配付「薬剤師にできること」「利用手順書」 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○緩和ケア研修会の開催 ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○就労支援		○コールセンターの設置・運営 ○在宅医療支援薬局リストの配布「薬剤師のできる事」 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、図書コーナーの整備 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○院内がん登録の公表
	市	○市ウェブサイトを通じた情報提供	●がん対策に関する講演会の開催 ●がん患者就労相談 ●埼玉産業保健総合支援センターとのがん患者の就労相談 ○市ウェブサイトを通じた情報提供 ○医療ナビの検索項目の見直し ○健康相談		○医療ナビの周知 ○健康相談
(4)評価指標	ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
市ウェブサイト内の「がんに関する情報」のアクセス数	2,834 (H27)	増える		2,647 (H28)	
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する		地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2012」について、市ホームページで情報提供を実施した。	
主な成果・課題				・保健医療関係者を中心に最新の治療に関する研修会などが開催されており、それが市民向けに分かりやすい情報として発信されることで情報の充実につながっている。 ・インターネットによる情報提供に加え、がん患者・家族向けのがんに関する冊子の無料提供や図書コーナーを整備することで、市民が必要な情報を得られる機会が増えている。	平成30年春に記入予定

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	働く世代へのがん対策の充実				
(3)分野別施策	市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	○がん診療連携拠点病院にてがん相談支援センターの設置、情報交換の場などの提供	○がん診療連携拠点病院にてがん相談支援センターの設置、情報交換の場などの提供 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○就労支援 ○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携		○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○公開講座の開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催
	市	○がん相談支援センター、患者サロンの本市ウェブサイトを通じての情報提供	●がん対策に関する講演会の開催 (共催：埼玉産業保健総合支援センター、全国健康保険協会 埼玉支部) ●がん患者就労相談 ●埼玉産業保健総合支援センターとのがん患者の就労相談 ●職員健康増進研修(禁煙セミナー) ○がん相談支援センター、患者サロンの本市ウェブサイトを通じての情報提供		○区報等へのがん検診受診勧奨記事の掲載 ○区内施設等において、がん検診受診勧奨ポスターの掲示 ○他機関主催イベント等での検診受診勧奨およびがん知識の啓発
(4)評価指標	ベースライン	目標値	27年度	28年度	29年度～(35年度)
事業所・従業員への相談支援窓口の案内の機会	—	増える		事業所向けの講演会やがん患者就労相談の実施により相談支援窓口について案内した。	
主な成果・課題				・市および民間の医療機関においてがん患者の就労に関する相談事業が開設されており、労働分野と協働し、患者の個性に合わせた必要な情報を提供する体制ができ始めている。	平成30年春に記入予定

さいたま市がん対策推進計画 平成28年度 各団体取組シート

目 次

【委員所属団体】

○さいたま赤十字病院	1
○埼玉県訪問看護ステーション協会	2
○さいたま市立病院	3
○埼玉県看護協会	4
○さいたま市歯科医師会	5
○さいたま市薬剤師会	6
○さいたま市4医師会連絡協議会	7
○Ç a v a ! (サヴァ) ~さいたまB E C ~	8
○さいたま労働基準監督署	9
○さいたま市社会福祉協議会	10
○さいたま商工会議所女性会	11
○自治医科大学附属さいたま医療センター	12

【関係課】

○健康増進課	16
○地域医療課	17
○地域保健支援課	18
○いきいき長寿推進課	19
○指導1課	20
○健康教育課	21
○西区役所保健センター	22
○北区役所保健センター	23
○大宮区役所保健センター	24
○見沼区役所保健センター	27
○中央区役所保健センター	28
○桜区役所保健センター	29
○浦和区役所保健センター	30
○南区役所保健センター	31
○緑区役所保健センター	32
○岩槻区役所保健センター	33

各団体取組シート

団体名：さいたま赤十字病院		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
地域がん診療連携拠点病院		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①地域がん診療連携拠点病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を目指し、がん患者および家族への支援を行う。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
職員、がん患者・家族、一般市民、来院者	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
前橋赤十字病院		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん診療連携セミナーの開催	① 2 3 4 5 6 7 8 9	院内外の医療関係者 平成28年9月28日 平成29年3月頃 約150~200人/回
緩和ケア研修会の開催	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内外の医療関係者(主にがん診療に携わる医師) 平成28年7月30~31日 平成29年2月18~19日 約30人/回
屋上を含む病院館内および敷地内の全面禁煙	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	職員および来院者
緩和ケアチーム 合同カンファレンス	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	前橋赤十字病院、当院緩和ケアチーム約10人 平成28年6月27日 平成28年11月14日 11人
緩和ケア研修会 合同検討会議	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	地域のがんサバイバー6人 当院職員6人 平成28年5月10日
がん相談	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 月~金曜日(祝日除く) 9:00~16:30
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、図書コーナーの整備	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん患者・家族、一般の方
取組の成果・感想など		
緩和ケア：今年度初の取組として、緩和ケア研修会、合同検討会議を行った。がんサバイバーの皆さんに体験談を語っていただくことで研修会参加者にサバイバーの声を届けることができた。緩和ケアチーム合同カンファレンスでは、症例検討を通して患者へのケアやチームのあり方について理解を深める機会となった。		

各団体取組シート

団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①在宅医療の推進 ②コールセンター開設		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
在宅医療の推進として①情報提供の充実、②がんに関する正しい知識の普及、③相談支援を行うことで、がん患者及び家族を支援し、生活ケアが不安なく送れるようにしていく。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
住民、県内ステーションの従事者、包括支援センター、病院の在宅相談等スタッフ	1 単年度事業	② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
県行政、県3士会（PT=理学療法士、OT=作業療法士、ST=言語聴覚士）、県ケアマネ協会		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
事務局内にコールセンターを設置	1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	住民、病院スタッフ、包括支援センター（スタッフ3人で交替、平日毎日10時～16時）
ターミナルケアの訪問看護	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	住民（各ステーションから随時）
がんセンター等の主催するがんの研修会に参加	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	訪問看護師（随時各ステーションのスタッフが参加）
ターミナルケアについての研修会企画	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	包括支援センタースタッフ、病院スタッフ、訪問看護師、ケアマネージャーから依頼があれば、随時地域のステーション管理者が中心となり行っています。
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<p>情報提供する側もがんについての知識を得て、適切に住民等に情報提供を行うことができ、在宅での療養支援を行うことができている。</p> <p>まずは、訪問看護ステーションが元気になり地域で活躍することで、在宅でのがん患者の療養が強化できます。そのためには協会として組織力を高めていく努力がまだまだ必要です。</p>		

各団体取組シート

団体名：さいたま市立病院		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がん患者・家族の支援		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う。		4 がん検診の質の向上
	5 在宅医療の推進	
	6 緩和ケアの充実	
	7 相談支援体制の活用	
	8 情報提供の充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
がん患者及びその家族	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)毎月第2金曜日13:00~15:00
告知後の患者支援	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	市立病院の入院中のがん患者・家族 1回/Wの回診、カンファレンス
がん相談支援センターの活用	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)平日の8:30~17:00 面談又は電話相談
就労支援	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	市立病院かかりつけのがん患者 月1回 社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施
退院調整看護師の活用	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	がん患者・家族を対象に在宅への調整、退院後、自宅への訪問を行っている。
さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	さいたま浦和地区の医療従事者を対象に年に2回、講演や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔の見える関係づくりをしている。
取組の成果・感想など		
がん患者サロンでは新規の参加者がおり、また家族同士のつながりもでき、支えになっているとの感想をいただいている。告知後の患者支援、緩和ケアチーム活動、がん相談支援センターの活用は利用件数が増加してきており継続が必要であると考え。就労相談は件数が少ないものの複数回利用している相談者もあり、これから広報を充実させ活用される場面を増やしていきたい。退院調整看護師は退院後訪問を開始し、退院後の患者・家族支援の幅を広げてきている。地域連携に関してはこれまでも課題としており、研究会を通じより具体的に地域でがん患者・家族を支える仕組みを作っていきたいと思う。		

各団体取組シート

団体名：(公社)埼玉県看護協会		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
看護師に対する全体研修並びに緩和ケア研修 (5日間)		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
1. 看護専門職として必要な看護実践能力の向上を図る 2. 緩和ケアに対する看護師の資質向上のため、必要な知識と高い技術を修得し、看護実践する能力を身につけた看護師の育成を図る		4 がん検診の質の向上
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
看護職	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
埼玉県保健医療部医療整備課 (緩和ケア研修5日間 2クール)		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
全体研修：がん患者と家族の心のケア	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年7月5日 参加人数：107名
全体研修：がん患者に対する手術療法	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年7月23日 参加人数：24名
全体研修：がん患者に対する放射線療法	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年8月27日 参加人数：52名
全体研修：がん化学療法の基礎知識と看護	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年9月27日 参加人数：150名
緩和ケア研修5日間2クール、(県委託事業)	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	①平成28年8月24日～26日 参加人数：26名 ②平成28年10月19日～21日 参加人数：28名
全体研修：がん患者の退院支援と地域連携	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	平成28年10月18日 参加人数：109名
全体研修：がん性疼痛看護	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年11月17日 参加人数：135名
取組の成果・感想など		
がん患者に対するそれぞれの最新治療について理解し、看護実践に役立てることを狙いとしている。また、緩和ケア研修では、がん患者を含むすべての終末期にある患者のケアについて学習し、埼玉県のがんを含む終末期ケアの質向上に貢献できたと考える。		

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①市民フォーラム ②口腔がん検診		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①さいたま市民に対するがん（口腔）の講話 ②市民に検診を受け、早期発見を図ることで早期に治療をうながす。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業（該当する数字に○）	
さいたま市民	① 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
与野歯科医師会、東京歯科大学口腔外科、大宮歯科医師会、明海大学歯学部口腔外科		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
口腔がんに対する教育・啓蒙	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年7月 市民140名
口腔がん検診	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	平成28年11月予定 市民90名
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
市民の関心も高いと思われるので、口腔がんについての教育・啓蒙や口腔ガン検診等については今後も継続する予定です。		

各団体取組シート

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①在宅緩和医療の支援管理体制の整備（麻薬・栄養療法・他薬物療法） ②市民の健康相談、受診勧奨（健康サポート薬局）		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①退院後にも在宅医療が継続して受けられるよう、麻薬、栄養輸液、他薬剤による病状管理が可能なさいたま市内の保険薬局を把握。薬局リストを作成、公表し市民の安心につなげる。 ②がん等についての健康相談を積極的に受ける健康サポート薬局を育成する。		4 がん検診の質の向上
事業の対象者	単年度事業・継続事業（該当する数字に○）	
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター		
取組の内容	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など
	（該当する数字に○）	
在宅医療支援薬局リストの作成	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	薬剤師会会員薬局 平成28年9月完成予定
在宅医療支援薬局リストの配布 『薬剤師にできること』『利用手順書』	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口 等
在宅医療に関わる薬剤師の研修会	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	さいたま市薬剤師会会員 平成28年8月19日（100名） 平成29年2月
健康サポート薬局の育成	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	日本薬剤師会、埼玉県薬剤師会との共同による育成研修 平成28年7月3日、9月25日
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
在宅医療支援薬局リストが出来上がりましたので、医師会、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所に配布したいと思っております。		

各団体取組シート

団体名：さいたま市4医師会連絡協議会		平成 28 年度分
事業名 ①がん検診の受診・経年受診の勧奨や啓発 ②がん検診の精度管理 ③在宅医療研修会等	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標		2 受動喫煙の防止と禁煙
①がん検診受診率の向上 ②検診実施医療機関参加による症例検討会や、医師会主催の医学会等を開催し、がん検診の精度管理に取り組む。 ③病診連携を充実する		3 がん検診の受診率の向上
事業の対象者		4 がん検診の質の向上
市民、医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター		5 在宅医療の推進
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		6 緩和ケアの充実
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市		7 相談支援体制の活用
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	8 情報提供の充実
がん検診の実施及び受診勧奨	1 2 ③4 5 6 7 8 9	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
検診実施医療機関参加による症例検討会や、医師会主催の医学会等によるがん検診の精度管理	1 2 3 ④5 6 7 8 9	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
在宅医療研修会の開催	1 2 3 4 ⑤6 7 8 9	1 単年度事業
「医療・介護・福祉」の研修会の開催	1 2 3 4 ⑤6 7 8 9	② 継続事業
病診連携研修会の開催	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
在宅医療・介護連携推進事業業務	1 2 3 4 ⑤6 7 8 9	
がんセンター地域緩和ケア勉強会等の会員周知・受講推進	1 2 3 4 5 ⑥7 8 9	
取組の成果・感想など		
さいたま市がん検診等の実施内容の見直し及び「必要最低限の精度管理項目」の改定について助言をし、来年度以降改善に寄与したと思われる。又、「認知症地域多職種協同研修」を7回実施し、参加者は延べ400名を数え、地域医療連携の上でも大いに成果があった。病診連携研修会については、各4医師会毎に、中核基幹病院と毎年定期的実施している。		

各団体取組シート

団体名 : Cava!～さいたまBEC～		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	① がんに関する正しい知識の普及
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②体験者が安心して集まれる場所を提供する		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①乳がんと告知された早い時期から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会を通し伝えていく事。 ②安心して集まれる場所を提供する事で、体験者同士が思いを共有し、孤独感から解放され、色々な事へのきっかけ作りをする。		4 がん検診の質の向上
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
乳がん体験者	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
月1度の体験者対象おしゃべり会	① 2 3 4 5 6 7 8 9	毎月第3水曜日10時～ 各20名位
不定期再発転移の方のおしゃべり会	① 2 3 4 5 6 7 8 9	3ヶ月1度第3水曜日14時～ 各10名
乳がん専門医による講演会	① 2 3 4 5 6 7 8 9	リンパ浮腫予防講演会(専門看護師による)
体験者対象のイベント各種	① 2 3 4 5 6 7 8 9	乳がん体験者ヨガ教室・リコーダークラブ他
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
毎月開催しているおしゃべり会では、治療前の方が情報を集めたく参加されたり、治療中の方々が副作を乗り越える知恵をご自身の経験から共有したり、みなさん和気藹々とお話しをしています。初めて会う同士が辛さや、苦しさや、嬉しさや、楽しさを語る事で、あっという間に打ち解けていく姿を沢山見えてきました。出来る事に限りはありますが、自身達が同じ罹患者である事から、変わらず続けて行くことが何より大切な事だと感じています。		

各団体取組シート

団体名：さいたま労働基準監督署		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①労働安全衛生法（受動喫煙防止対策）及び対策助成金制度の周知等		2 受動喫煙の防止と禁煙
②「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の周知等		3 がん検診の受診率の向上
事業の目標		4 がん検診の質の向上
①職場における受動喫煙防止対策を推進し、受動喫煙を受けている労働者の割合の低下を図る。 ②ガイドラインの周知により「治療と職業生活の両立支援を行うための環境整備」を進める。		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
事業の対象者		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
管内の事業場		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
		単年度事業・継続事業（該当する数字に○）
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		1 単年度事業
		② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
全国労働衛生週間準備期間及び各種集団指導、説明会等における事業場への周知	1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	安全週間(7月)・衛生週間(10月)の準備のための説明会 16会場 参加者 事業主、人事労務・安全衛生・産業保健担当者等 570名 その他 各種安全衛生大会、安全衛生講習会等において周知を実施した。
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」について、その周知を図ってきましたが、労働者の健康管理、産業保健の観点に加え、人事労務管理の範囲も含まれ、課題が多岐に渡るところから、今後、説明会等については、理解促進のために説明内容の工夫と継続的な実施を予定しています。		

各団体取組シート

団体名：さいたま市社会福祉協議会		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
職員福利厚生		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
生活習慣病予防検診の受診費用を助成することにより、受診率向上を図る。 また、衛生委員会を活用し、病気に関する知識向上を図り予防に努める。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
7 相談支援体制の活用		
8 情報提供の充実		
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
本会に従事する職員(臨時職員等含む)	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
市内医師会、全国健康保険協会、産業医		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
定期健康診断	① 2 3 4 5 6 7 8 9	本会の全職員(臨時職員等含む)、平成28年6月から9月
産業医による個別健康教育	① 2 3 4 5 6 7 8 9	衛生委員会設置事業所勤務職員、毎月1回
生活習慣病予防検診の受診費用助成	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	職員及び嘱託職員、平成28年度通年
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断については予定通り実施でき、受診費用を助成についても、周知し必要に応じ実施することができた。 ・産業医による面接等については希望者がいなかったが、引き続き案内していく。 		

各団体取組シート

団体名：さいたま商工会議所女性会		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がん検診の受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
7 相談支援体制の活用		
8 情報提供の充実		
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
女性会会員	① 単年度事業	
	2 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
埼玉県 保健医療部 疾病対策課		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
会報誌へのがん検診受診勧奨記事の掲載	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	会員、年1回、300部発行
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
埼玉県で発行している冊子より抜粋し、当女性会会報誌「きらめき」内の1ページにがん検診受診勧奨、また公益財団法人がん研究振興財団が提案している予防法等を掲載。平成29年4月の総会時に会員へ配布し、関東圏内の女性会(79単会)にも配布予定。今後、受診率が向上することを期待する。		

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
・ 職員の健康管理、がんに関する知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
・ 職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
全職員、私学共済被扶養者	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
一般定期健康診断	① 2 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施(年2回の機会を提供)
特定業務従事者に対する健康診断	① 2 3 4 5 6 7 8 9	特定業務従事者を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施(配置換えの際及び6ヶ月以内ごとに1回定期に実施)
特殊健康診断	① 2 3 4 5 6 7 8 9	該当職員を対象に法令に基づく特殊健康診断を実施(配置換えの際及び6ヶ月以内ごとに1回定期に実施)
人間ドックの利用費用補助	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、人間ドック利用料の助成
郵送検診の実施	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施
緩和ケア研修会の開催	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年2回開催
化学療法研修会の開催	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	医療従事者を対象に化学療法に関する最新の知見を提供
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断(受診率100%)や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来の開設などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。 ・ 認定看護師の育成、臨床腫瘍学講義、看護師特定行為研修などの取り組みを通じて医療者の知識・技術の習得に努めた。また、がん罹患した時から、緩和ケアが適切に提供されるよう、緩和ケア研修会の開催、緩和ケアチームの活動を行った。 ・ がんと仕事の両立を目指すために、がんサロンや就労相談会の開催、がん相談支援センターの活動を行った。 		

各団体取組シート

団体名 ：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止、禁煙推進 ・最新知識、技術の習得支援 		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙によるがん罹患の防止に努める ・最新知識、技術の習得支援に努める 		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者		単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
全職員、私学共済被扶養者、看護師		1 単年度事業
		② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
私学事業団健康相談ダイヤル	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	私学共済加入者に健康医療等電話相談サービスを実施(健康相談、医療相談、介護相談など)
喫煙者率調査の実施	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に定期的に喫煙の状況について調査を実施。現在、職員の約5%が喫煙。
敷地内全面禁煙	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている。
がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	希望職員に対し、資格取得にかかる費用の助成
臨床腫瘍学講義の実施	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科(栃木県下野市)で開講している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断(受診率100%)や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来の開設などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。 ・認定看護師の育成、臨床腫瘍学講義、看護師特定行為研修などの取り組みを通じて医療者の知識・技術の習得に努めた。また、がん罹患した時から、緩和ケアが適切に提供されるよう、緩和ケア研修会の開催、緩和ケアチームの活動を行った。 ・がんの仕事の両立を目指すために、がんサロンや就労相談会の開催、がん相談支援センターの活動を行った。 		

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
・患者・市民向け知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
公開講座の開催	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	市民向けに公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている。年1回開催。
がんサロンの開催	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	がん患者や家族が療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを年6回開催(事前申込制)
おしごと継続・就労相談会の開催	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催。毎月1回開催(第3金曜日、事前予約制)
緩和ケア研修会の開催(再掲)	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年2回開催(地域の医療従事者も参加可能)
化学療法研修会の開催(再掲)	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	医療従事者を対象に化学療法に関する最新の知見を提供(地域の医療従事者も参加可能)
院内がん登録の公表	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表。
がん相談支援センターの開設	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	患者・家族等の医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応。
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断(受診率100%)や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来の開設などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。 ・認定看護師の育成、臨床腫瘍学講義、看護師特定行為研修などの取り組みを通じて医療者の知識・技術の習得に努めた。また、がん罹患した時から、緩和ケアが適切に提供されるよう、緩和ケア研修会の開催、緩和ケアチームの活動を行った。 ・がんの仕事の両立を目指すために、がんサロンや就労相談会の開催、がん相談支援センターの活動を行った。 		

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 28 年度分
事業名 <ul style="list-style-type: none"> ・患者・市民向け知識普及 ・緩和ケア実践 	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標		2 受動喫煙の防止と禁煙
<ul style="list-style-type: none"> ・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める ・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める 		3 がん検診の受診率の向上
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
外来患者、入院患者、患者家族、一般市民	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
セカンドオピニオン外来の開設	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
緩和ケアチームを組織	① 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断(受診率100%)や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来の開設などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。 ・認定看護師の育成、臨床腫瘍学講義、看護師特定行為研修などの取り組みを通じて医療者の知識・技術の習得に努めた。また、がん罹患した時から、緩和ケアが適切に提供されるよう、緩和ケア研修会の開催、緩和ケアチームの活動を行った。 ・がんの仕事の両立を目指すために、がんサロンや就労相談会の開催、がん相談支援センターの活動を行った。 		

各団体取組シート

団体名：健康増進課		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がん対策推進講演会（対象：①事業所 ②市民及び在宅療養関係者） がん患者就労相談 養護教諭向けの研修 禁煙外来リスト作成・配布		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①がんに関する正しい知識の普及 ②がん患者の療養生活の質の向上 ③がん患者等の就労支援の充実 ④禁煙についての情報発信		4 がん検診の質の向上
事業の対象者		5 在宅医療の推進
市民、在宅療養関係者、市内事業所の人事労務者、経営者、市内小・中・高校・特別支援学校の養護教諭		6 緩和ケアの充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用
さいたま市医師会、さいたま市歯科医師会、関東労災病院、埼玉労働局、大宮公共職業安定所、埼玉産業保健総合支援センター、全国健康保険協会埼玉支部、パイン株式会社、さいたま市立病院、埼玉県訪問看護ステーション協会、さいたま市社協訪問看護ステーションおのみや、ながくらクリニック、埼玉県社会保険労務士会、浦和社会保険労務士会、ハローワーク大宮、健康教育課、埼玉県、戸田中央病院		8 情報提供の充実
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする？ ～不安を抱える社員に会社はなにができるか～	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	平成28年8月24日 事業所の人事労務担当者、経営者等111名参加
がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする？ ～住み慣れた我が家で受けられる支援&ケアを知ろう～	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	平成29年3月18日 市民、在宅療養関係者等69名参加
がん患者就労相談	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	平成28年7月～開始 さいたま市立病院に受診しているがん患者およびその家族 合計4名が利用
養護教諭向けの研修	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年7月28日 小・中・高校・特別支援学校に勤務する養護教諭 約200人参加
禁煙外来リスト作成・配布	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	平成29年1月～配布 10,000部
地図情報システムへ禁煙外来医療機関の掲載	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	平成28年9月～掲載開始
ピンクリボン運動	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成28年10月 大宮区ふれあいフェアにおいてがんに関する啓発ブースを出展
取組の成果・感想など		
就労に関するがん対策推進講演会では労働分野の団体と共催で開催することで、さいたま市内の企業の労働衛生担当者に周知ができ、申込も多く集まったので効果的であった。がんに関する情報提供のニーズは高いため、さいたま市民向けのがん対策講演会を平成29年度も実施して行く予定。 がんの予防につながる禁煙外来の情報提供を目的として作成した禁煙外来リストは、追加を希望する医療機関や保健センターも出てきている。		

各団体取組シート

団体名：地域医療課		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①医療機関情報の発信 ②在宅医療従事者研修の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①医療機関検索サイト医療なびの充実を図る。 ②在宅医療に係る医療従事者の質向上と連携を図る。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
①市民 ②市内医療機関の医療従事者	1 単年度事業	② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
医療なびの周知	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	市民、平成28年度通年
MSW研修会の開催	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市内病院のMSW等、平成28年12月、32人
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・医療なびの周知については、市民講演会、イベント、ラジオ等で周知を行った。 ・MSW研修会の開催については、市内病院で退院支援を行うMSW、看護師等を対象に研修を実施し、病病連携と職員のスキルアップを図った。 		

各団体取組シート

団体名：地域保健支援課		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
市民	① 単年度事業	
	2 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
各区保健センター、中央図書館、医師会		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度初めて市のがん検診の対象になった市民、平成28年4月27日～平成29年3月11日の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市のがん検診の対象の市民、個別勧奨はがき：平成28年4月中旬発送、再勧奨はがき：平成28年9月下旬発送
乳がん検診・子宮頸がん検診無料クーポン券の送付	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	国の定めた年齢で過去に市の検診を受診していない市民、平成28年6月発送
市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市民、平成28年9月ほか実施
さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度20歳になった市民(新成人)、平成29年1月9日実施
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者、1次検診受診報告日より4か月後
中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	平成28年10月4日～14日実施
取組の成果・感想など		
<p>全ての取組について、滞りなく、計画通りに実施できました。特に個別勧奨に力を入れ、全てのがん検診の対象者に4月中旬に勧奨はがきを送付し、また、乳がん検診・子宮がん検診及び初年度無料事業の対象者のうち8月下旬までに未受診の方には再勧奨はがきを送付しました。</p> <p>その結果、延べ受診者数は約3万7千人の増加見込み、受診率も前年度比で約0.5ポイント増加見込みです。(約30.0%)しかし、高齢化の伸展に伴い、対象者数も増加しているため、受診率の伸びは鈍く、より効果的な勧奨の取組が求められます。</p>		

各団体取組シート

団体名：いきいき長寿推進課		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者		単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
医療関係者、介護関係者、行政		1 単年度事業
		② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課		
取組の内容	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など
	(該当する数字に○)	
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	4医師会毎に地域包括ケア推進に向け多職種連携の必要性を共有。
医療・介護関係者の研修	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医師会毎に「在宅医療の実際」「ICTを使った共有ツールについて」など多職種が参加する研修を実施。
地域住民への普及啓発	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	一般市民向けに「高齢化社会における在宅医療について」「人生の最後を迎える場所について考える」など講演会を開催。
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
検討会や研修を通して多職種の顔の見える関係づくりを進めることができました。		

各団体取組シート

団体名：教育委員会学校教育部指導1課		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①がんに関する正しい知識を習得させる ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		4 がん検診の質の向上
	5 在宅医療の推進	
	6 緩和ケアの充実	
	7 相談支援体制の活用	
	8 情報提供の充実	
	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
市立全小・中学校の児童生徒	1 単年度事業	② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
教育委員会学校教育部健康教育課		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健学習の実施	① ② 3 4 5 6 7 8 9	市立全小・中学校の児童生徒に対して確実に保健学習を行う。
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づき、市立全小・中学校の児童生徒に対して保健学習を行うことができた。 ・市立小学校103校、市立中学校57校で実施。 		

各団体取組シート

団体名：健康教育課		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
養護教諭研修会（歯科・健康相談）		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
養護教諭の職務の特質や保健室の機能を十分に生かし、児童生徒の様々な健康問題に適切に対応できるよう、養護教諭の資質の向上及び指導力の向上を図る。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業（該当する数字に○）	
市立小・中・高等・特別支援学校の養護教諭	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
健康増進課		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
さいたま市のがんの現状について	① 2 3 4 5 6 7 8 9	市立小・中・高等・特別支援学校の養護教諭 平成28年7月28日（木）対象：204名
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市のがんの現状や、さいたま市がん対策推進計画について理解を深めさせることができた。 ・今後も関係機関と連携を図り、がんに関する理解を深められるよう、研修の機会を設定していく。 		

各団体取組シート

団体名：西区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及
がん検診受診勧奨 がんについての啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
① がん検診を受診し、早期発見・治療につながる		4 がん検診の質の向上
② がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアをすることができる	5 在宅医療の推進	
③ 自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる	6 緩和ケアの充実	
事業の対象者	7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
市民全般 市内在住のがん検診受診対象者及びその家族	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	単年度事業・継続事業（該当する数字に○）
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	1 単年度事業	② 継続事業
児童センター・支援センター		
取組の内容	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など
	（該当する数字に○）	
がん検診受診勧奨	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	11月24日に指扇駅にて健診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定
乳がんについての講話 （依頼教育）	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	乳幼児を持つ保護者を対象に10月に3回実施予定
女性のがんについての講話 （教室内）	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	乳児を持つ母を対象に講話。定員18組、年4回開催予定
がん精検未受診フォロー （女性のがん）	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	精密検査未受診の方に受診状況の確認受診勧奨の連絡
健康相談（随時）	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	来所、電話などがんについての相談を随時
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<p>がん検診受診勧奨については、予定通り掲示や啓発活動を通して実施した。教育については、主に子育て世代の方に保健センター実施の教室や依頼教育にて講話を実施し、検診受診の勧奨及び乳がんについてのセルフチェック知識の普及に努めた。がん精密健診未受診フォローについても対象者への受診勧奨を行った。健康相談は随時行い対応している。</p>		

各団体取組シート

団体名：北区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
① がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。		4 がん検診の質の向上
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。		5 在宅医療の推進
事業の対象者		6 緩和ケアの充実
北区民		7 相談支援体制の活用
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実
イトーヨーカドー大宮宮原店、私立幼稚園、子育て支援センター等		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
食育クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	イトーヨーカドーの来店者、平成28年6月3日実施、約502人
健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	イトーヨーカドーの来店者、平成28年9月16日実施、466人
女性のがん検診啓発チラシの配布	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	母子保健事業の参加者、保健センター来所者、子育て支援センター来所者、通年実施、1200部発行
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター来所者、平成28年4月、平成29年1月実施
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	私立幼稚園に通う児と両親、平成28年7月9日、12月10日(2日間1コース)、1日目：23人 2日目：15人
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター等来所者、依頼時に実施、20～30人/回
取組の成果・感想など	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
クイズラリーを商業施設で行うことで、多くの若年層に楽しみながら、がん検診等の重要性を理解してもらうことができた。子育て世代へのアプローチとして、父対象の運動教室に参加している母や依頼教室参加の母に対し、乳がん自己触診を体験してもらい、健診受診への意識付けをすることができた。また、女性対象のがん健診をまとめた北区独自のチラシを作り、保健センターで行われる各種教室で配布したことで、多くの方にがん検診の啓発をすることができた。		

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がんの予防と早期発見の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防の推進 ・がんの早期発見・早期治療の推進 		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者		単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
市民		1 単年度事業
		② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
大宮区役所総務課、コミュニティ課、福祉課、課税課、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、民生委員、大宮アルデージャ、子育て支援センター、天沼児童センター、三橋1丁目自治会、佐藤興産		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診精検者未受診フォロー (乳がん、子宮がん精検未受診者)	1 2 3 ④ 5 6 7 8 9	乳がん、子宮がん健診を受診し、判定区分が精密検査の者、通年、33人(2月末時点)
がん検診の啓発グッズの作成 ポスター、チラシ、ひえピタ(500部)の作成	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	
市報等によるがん検診受診勧奨	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市民、通年
大宮区役所内にてがん検診受診勧奨 ポスター掲示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	施設利用者、通年
【商業施設におけるがん検診受診勧奨】 大宮高島屋にがん検診受診勧奨のアナウンス (H28.4～ 1日4回放送)	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	施設利用者、H28.4～H29.3
健康相談	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	大宮区民、相談時適宜対応
【佐藤興産、三橋1丁目自治会共催地区教育】 管理栄養士による講話、保健師による貯筋体操	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	三橋1丁目自治会、9月22日、34名参加
取組の成果・感想など		
<p>がんに関する正しい知識の普及および情報提供は、保健センターの事業だけに留まらず、他機関と協力して様々なイベントを行うことが、がん予防の推進、がんの早期発見、早期治療の推進につながると考える。</p>		

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がんの予防と早期発見の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防の推進 ・がんの早期発見・早期治療の推進 		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
7 相談支援体制の活用		
8 情報提供の充実		
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
市民	1 単年度事業	② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
大宮区役所総務課、コミュニティ課、福祉課、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、民生委員、大宮アルデージャ、子育て支援センター、天沼児童センター、三橋1丁目自治会、佐藤興産		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
【健活チームおおみや～ウォーキング編】 がん検診啓発 受診勧奨	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	大宮区民、10月7日、8名
【ママの元気アップ講座～天沼児童センター編】 保健師講義「知って安心！女性の健康（乳がん）」	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	大宮区民、10月28日、16名
【大宮区自転車ツー・ロック促進啓発キャンペーン】 がん検診啓発ちらしやティッシュ、冷えピタ等の配布	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	自転車駐車場利用者、①6月27日、②8月26日 ①100名、②113名
【大宮アルデージャ大宮区民感謝デー】 保健師講義「がん、がん検診について」	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	来場者、7月13日、400名
【大宮区少年・少女サッカー教室】 がん検診啓発ちらし配布	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	大宮区民、10月23日、52名
【食品衛生協会加入者で、検便容器受け渡しされるイベントにおける普及啓発活動】 がん検診啓発ちらし等の配布、ポスター、パネル掲示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	食品衛生協会加入者で、検便容器受け渡しされる方 ①8月18日、19日、②9月7～9日③1月26日、27日、2月21日、27日、28日 ①②合計2000部配布 ③1000部配布
【禁煙週間による肺チェッカー測定】 肺チェッカーによる肺年齢測定、禁煙に関するポスター掲示	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	市民、5月30日、62人（ポスター掲示は5月31日～6月6日）
取組の成果・感想など		
<p>がんに関する正しい知識の普及および情報提供は、保健センターの事業だけに留まらず、他機関と協力して様々なイベントを行うことが、がん予防の推進、がんの早期発見、早期治療の推進につながると考える。</p>		

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がんの予防と早期発見の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防の推進 ・がんの早期発見・早期治療の推進 		4 がん検診の質の向上
事業の対象者		単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
市民		1 単年度事業
		② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
大宮区役所総務課、コミュニティ課、福祉課、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、民生委員、大宮アルデージャ、子育て支援センター、天沼児童センター、三橋1丁目自治会、佐藤興産		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
【健活チームおおみや～レベルアップ編】 がん検診啓発 受診勧奨	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	大宮区民、2月20日、14名
【ママの元気アップ講座】子育て支援センターおおみや 保健師講義「知って安心！女性の健康（乳がん）」	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	大宮区民、7月14日 68名、11月14日 56名
大宮区市県民税申告会場にてチラシ配布、ポスター掲示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	申告会場利用者 平成29年2月16日（木曜日）から平成29年3月15日（水曜日）まで 《土曜日・日曜日は除く》 約2500名
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
がんに関する正しい知識の普及および情報提供は、保健センターの事業だけに留まらず、他機関と協力して様々なイベントを行うことが、がん予防の推進、がんの早期発見、早期治療の推進につながると考える。		

各団体取組シート

団体名：見沼区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙による健康被害の正しい知識の普及		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①がん検診の受診率向上やがん予防に関する情報提供の充実。 ②喫煙者の禁煙意識が高まる。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
見沼区区民	① 単年度事業	
	2 継続事業	
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
教室中でのがん検診勧奨	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者、約100名に勧奨
ポケットティッシュの作成・配布	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者、見沼区ふれあいフェア来場者、約1000個配布
乳がん模型の展示	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	見沼区ふれあいフェア来場者
禁煙週間の取り組み(禁煙対策特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動)	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	保健センター利用者 平成28年5月31日～6月6日
禁煙相談の実施	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	COモニター測定者、希望者
COモニター測定	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	教室参加及び特定保健指導対象者のうち喫煙者
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<p>今年度よりCOモニター(呼気一酸化炭素濃度測定機器)を使用して、特定保健指導・各健康づくり教室・見沼区ふれあいフェア・両親学級にて呼気一酸化炭素濃度測定及び禁煙相談を行ったところ計67名が利用し、測定前後で禁煙に対する意識が高まった人が51%という結果が得られた。</p> <p>各健康づくり教室参加者92名にパワーポイントにて検診の必要性を説明し、がん検診を勧奨した。</p> <p>乳がん検診や早期発見の啓発として、見沼区ふれあいフェアにて乳がん自己検診法の保健指導を行ったところ計55名が参加した。また、女性の健康週間に乳がんの早期発見についてのパネルを掲示した。</p> <p>見沼区民健康新聞(第5号)は、テーマを「がんを知る。暮らしを守る」として、がん予防法について掲載し、自治会の協力を得て区内の回覧を行ったり、見沼区ふれあいフェアや支所・公民館での配布、コミュニティバスや区役所内トイレでの掲示を実施した。</p>		

各団体取組シート

団体名：中央区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診受診勧奨 ②がん発症予防		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①がん検診を受け、早期発見を図ることで重症化を予防する。 ②がんを予防する生活習慣を知ること、がん発症のリスクを下げる。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
事業の対象者	7 相談支援体制の活用	
①保健センター事業参加者 ②保健センター、区役所来所者 ③区内保育施設、公共交通機関利用者	8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
	事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
①保健センター事業参加者 ②保健センター、区役所来所者 ③区内保育施設、公共交通機関利用者	1 単年度事業	② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
自治会、区内保育施設、公共交通機関		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
育児相談にて、がん検診等についてのパンフレット、ティッシュ配布	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象：育児相談参加者 実施日時：毎月2日間(育児相談) 参加人数：1165名
アロマストレッチにて、がん検診受診について講話実施	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象：教室参加者 実施日時：平成28年5月20日 参加人数：19名
男の筋トレ教室にて、がん検診についてのパンフレット、ティッシュ配布	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者 実施日時：平成28年10月2日 参加人数：10名
ピラティスにて、子宮頸がんについて講話実施	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者 実施日時：平成28年11月22日 参加人数：18名
体脂肪・筋肉量測定会にて、がん検診についてパンフレット配布、禁煙について講話。	1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：測定会参加者 実施日時：平成28年5月30日、9月26日、1月30日 参加人数：142名
がん検診受診勧奨用ポスター掲示	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区民、区役所、保健センター来所者 実施日時：平成28年10月～平成29年3月 掲示先：区内自治会、区内保育施設、区内公共交通機関(鉄道)、区役所、保健センター
がん検診受診勧奨用ティッシュ配布	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：①区民まつり体脂肪・筋肉量測定者②区役所、保健センター来所者 実施日時：①平成28年11月6日②平成28年4月～平成29年3月 参加人数：①162人②約500人
取組の成果・感想など		
年度初めの事業からがん検診のティッシュ、パンフレットの配布を開始したことで、長期間周知することができた。また、育児相談でがん検診のティッシュ、パンフレットを配布したことで、若い世代へのがん検診勧奨ができた。		

各団体取組シート

団体名：桜区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診の受診勧奨 ②禁煙に関する普及啓発 ③女性特有のがんについての普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①桜区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。		4 がん検診の質の向上
②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。		5 在宅医療の推進
③女性特有のがんについて、桜区民が乳がんの自己検診を実施し、がん検診を受けることで、早期発見を図り早期治療に結びつける。		6 緩和ケアの充実
事業の対象者		7 相談支援体制の活用
桜区民		8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
単年度事業・継続事業(該当する数字に○)		1 単年度事業
		② 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
プラザウエスト 桜区図書館 記念総合体育館		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）プラザウエスト等で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	通年
保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	・5月23日 11名 ・8月1日 35名 ・10月25日 20名
禁煙週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。保健センターで希望者にスモーカーライザーによる測定を実施。	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	5月31日～6月30日
乳がん月間に保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区民ふれあいまつりにて乳がん自己検診法についての啓発。女性向けの教室開催時に女性特有のがんについてのミニ講話を実施。	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	10月1日～31日
女性の健康週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	3月1日～8日
市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	5月・8月・10月・2月・3月
体組成測定会でパンフレット配布	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	・7月25日 98名 ・12月9日 94名
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・教室や区民ふれあいまつりで乳がんモデルの触診体験を実施したところ好評だった。（区民ふれあいまつりでの乳がんモデル触診体験者 105名） ・さいたま市健康づくり及び食育についての調査結果から、桜区は喫煙率が高く、禁煙する意志がある割合も低い傾向にあるため、今後も積極的に禁煙について情報提供していく必要がある。 ・女性のがん検診の受診率が目標値に届いていないため、引き続き受診勧奨を行う取組が必要である。 		

各団体取組シート

団体名：浦和区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
保健センター及びさいたま市役所来庁者 依頼教育の参加者 浦和区健康まつり来場者	1 単年度事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		② 継続事業
総務課、公民館、アシスト浦和、上木崎地区愛育会		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	上木崎地区愛育会主催育児学級 1回 50人 健康づくり教育 3回 計39人 病態別健康教育 6回 計254人 育児相談 20回/年 計867人 出産前教室3日目 12回/年 計996人
受動喫煙防止のポケットティッシュ配布	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	出産前教室6月25日28組、7月22日28組
市役所ロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	全開庁日
保健センターロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	全開庁日
浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発	① ② 3 4 5 6 7 8 9	11月6日 保健センターブース参加者300人
1 2 3 4 5 6 7 8 9		
取組の成果・感想など		
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園で開催した講座では、質問も多く出ており、市民の乳がんに関する関心の高さがうかがえた。 ・今年度は、受動喫煙防止により力を入れて取り組んだ。出産前教室では、これから子どもを迎える夫婦が熱心に話を聞き、パンフレットを見ている様子があり、産後の節煙、禁煙を期待できると感じた。 ・浦和区健康まつりでは、幅広い年齢層や健康観の方が来所され、がん予防に関心が高くなかった方や壮年層およびその家族への啓発も行うことができた。 		

各団体取組シート

団体名：南区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診受診に関する啓発 ②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置 ③禁煙相談事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
・がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診の必要性を理解することができる。 ・喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。		4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
区民を中心とした市民 (イベントの場合は市外の場合もある)	1 単年度事業 ② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
ファイザー株式会社,武蔵浦和コミュニティーセンター、スポーツ振興課		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象は区内在住の30～40歳代の女性と概ね8kgのお子さんをもつ父と母、H28年6月、10月、H29年1月の3回、合計64人
母子地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象は区内在住の乳幼児を持つ母、9月と3月実施、合計35人
イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区民または市民対象。7月に浦和レッズ戦ホームゲームでのブース出展と11月に武蔵浦和コミセンまつりでの出展の2回を実施。合計903人
庁舎内の健康啓発コーナーにおける、がん検診受診に関する啓発媒体の展示	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	年間を通じて実施。パネル展示・パンフレット等の配布、人数不明
禁煙相談の実施	① ② 3 4 5 6 7 8 9	区内在住の禁煙希望者とその家族が対象。月1回年12回開催、来談者4人
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<p>・今年度は新しい取組としてサッカー観戦日に健康ブースを出展した。市外の来場者も多かったが大勢の対象者に周知する場所としては効果的だった。今後は市民に絞った多くの対象者にPR出来る方法、場所を検討したい。</p> <p>・事業のさまざまな場面で、パネル、乳がん触診モデルの視覚媒体や一酸化炭素濃度測定、肺年齢計などの測定機器を活用して、前年度から引き続き「からだ見える化」をテーマにがん検診等のPRをすることができた。次年度もわかりやすく、幅広い年代に関心をもってもらえる内容で啓発、教育事業を実施していきたい。</p>		

各団体取組シート

団体名：緑区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診の受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙
②がんに関する正しい知識の普及		3 がん検診の受診率の向上
事業の目標		4 がん検診の質の向上
①市民ががん検診を受け早期発見を図ることで早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
	7 相談支援体制の活用	
	8 情報提供の充実	
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
さいたま市民	1 単年度事業	
	2 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
区民課、区民まつり実行委員会		
取組の内容	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など
	(該当する数字に○)	
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター主催の教室に参加した市民、年間を通じて、10～20名/回×19回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	緑区役所に来庁された市民、年間を通じて実施
緑区区民まつりにおける、がん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布、乳がん自己触診体験など	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	緑区区民まつりに来所した市民、10月15日に実施
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨記事の掲載	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	緑区在住の市民、市報1月号に掲載
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
緑区役所区民課前や、区民まつりでがん検診等のポスターの掲示やリーフレットの配布を実施し情報提供を行ったが成果については不明である。 成人教育等で正しい知識の普及啓発に取り組みについては、教室終了後のアンケート結果から、参加者の関心がうかがえた。		

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がん予防の普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
がん検診受診率アップのため、がんに関する情報提供とがん検診PR活動を実施する。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実	
7 相談支援体制の活用		
8 情報提供の充実		
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者	単年度事業・継続事業(該当する数字に○)	
岩槻区民	1 単年度事業	
	② 継続事業	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
区内商業施設、区内公共施設、区内公共交通機関		
取組の内容	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
区報等へのがん検診受診勧奨記事の掲載	1 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	区報4月号、8月号、1月号 公民館報9月号、12月号
区内施設等でのがん検診受診勧奨ポスターの掲示	1 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	区内公共施設、区内商業施設、区内公共交通機関(鉄道・バス)
区役所3階ロビー、保健センター窓口でのパンフレット設置	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者、4月～3月、特に9月は強化月間として実施
保健センター実施の各種教室等でのがん検診PR(ミニ講義、パンフレット配布)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防教室等：参加者、年度12回、221人 ・依頼教育等：参加者、年度8回、188人
他機関主催のイベント等でのがん検診啓発	① ② ③ 4 5 6 7 8 ⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・ロビーコンサート：来場者、7月29日、9月6日、12月12日、1月18日、計320人 ・コミセンまつり：来場者、11月26、27日、500人 ・やまぶきまつり：来場者、10月16日、108人
体組成測定会でのがん検診PR	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	来庁者 5月31日59人、9月8日91人、 2月8日86人
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<p>平成27年度受診率は、平成26年度受診率に比べ5大がんの全てにおいて0.2～1.7%の向上がみられた。今年度は情報提供の場を増やし、パンフレットの配布数も増やすことが出来たので、受診率アップに繋がっていることを期待する。</p> <p>また体組成会は今年度新規事業であった。来場者数が多く好評で、情報提供と検診PRは出来た。来年度も実施予定。</p>		

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター		平成 28 年度分
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がん予防の普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
禁煙セミナーを開催し、職員の健康増進を図る。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者		単年度事業・継続事業(該当する数字に○)
区役所職員		① 単年度事業
		2 継続事業
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		
岩槻区役所総務課		
取組の内容	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など
	(該当する数字に○)	
職員健康増進研修(禁煙セミナー)	1 ② 3 4 5 6 7 8 ⑨	区役所職員、7月28日、21人
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など		
<p>・職員健康増進研修(禁煙セミナー)のアンケート結果では、無回答1名を除く出席者全員がタバコに関する知識を得ることが出来たと回答していた。区役所内の喫煙場所の改善に向けた取り組みを望むとの意見も出て、職員の健康増進の意識を高める良い機会となった。</p>		

さいたま市がん対策推進計画 平成29年度 各団体取組シート

目 次

【委員所属団体】

○さいたま赤十字病院	1
○埼玉県訪問看護ステーション協会	2
○さいたま市立病院	3
○埼玉県看護協会	5
○さいたま市歯科医師会	6
○さいたま市薬剤師会	7
○さいたま市4医師会連絡協議会	8
○Ç a v a ! (サヴァ) ~さいたまB E C ~	9
○さいたま労働基準監督署	10
○さいたま市社会福祉協議会	11
○さいたま商工会議所女性会	12
○自治医科大学附属さいたま医療センター	13

【関係課】

○健康増進課	17
○地域医療課	18
○地域保健支援課	19
○いきいき長寿推進課	20
○指導1課	21
○労働政策課	22
○西区役所保健センター	23
○北区役所保健センター	24
○大宮区役所保健センター	25
○見沼区役所保健センター	26
○中央区役所保健センター	27
○桜区役所保健センター	28
○浦和区役所保健センター	29
○南区役所保健センター	30
○緑区役所保健センター	31
○岩槻区役所保健センター	32

各団体取組シート

団体名: さいたま赤十字病院		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
地域がん診療連携拠点病院		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①地域がん診療連携拠点病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。		4 がん検診の質の向上	
	5 在宅医療の推進		
	6 緩和ケアの充実		
	7 相談支援体制の活用		
	8 情報提供の充実		
事業の対象者		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
職員、がん患者・家族、一般市民、来院者			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
前橋赤十字病院、足利赤十字病院			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
緩和ケア研修会の開催	継続	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	H29.5月27日・28日、H30.2月24日・25日 各約30名予定
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	前橋赤十字病院・足利赤十字病院・さいたま赤十字病院 緩和ケアチームメンバー
屋上を含む病院館内および敷地内の全面禁煙	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	職員および来院者
がん相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 月～金曜日（祝日を除く）9:00～16:30
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、図書コーナーの整備	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん患者・家族、一般の方
がん診療連携セミナーの開催	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	院内外の医療関係者、年度内に2回開催予定、約120人/回
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会		平成 29 年度分	
事業名		分野別 施策 (参考)	
①末期がんなど高度な医療にも対応する訪問看護の育成 ②医療・介護の連携 ③在宅療養の知識の普及			
事業の目標			
在宅医療の推進として ①訪問看護STの機能を強化し、在宅看とりが増やせる体制作り行う為、育成が必要である。 ②多職種連携の為に交流、研修会を行ない、在宅での療養環境を整備する。 ③関係者・患者・市民に向けてコールセンター窓口を継続して行ない、よりスピーディーな対応ができるように努める。		1 がんに関する正しい知識の普及	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の対象者		3 がん検診の受診率の向上	4 がん検診の質の向上
住民、患者、県内外医療従事者、地域包括ケアシステムに関わる職種、県内訪問看護ステーション			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
県行政、医師会、看護協会、三工会、ケアマネ協会			
取組の内容		分野別施策	
	新規 継続	(該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
機能強化型STの育成	新規	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	県内10か所のSTに2か月分OJT経費
育成プログラムの普及	新規	1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	訪問看護師の育成の為に研修開催
コールセンターの設置・運営	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ ⑧ 9	平日10° ~16° 対応
ターミナルケアについての研修会企画	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	多職種との研修開催
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		平成 29 年度分	
事業名	1 がんに関する正しい知識の普及		
がん患者・家族の支援	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
7 相談支援体制の活用		8 情報提供の充実	
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者			
がん患者及びその家族			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)毎月第2金曜日13:00~15:00
告知後の患者支援	継続	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	継続	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	市立病院の入院中のがん患者・家族 1回/Wの回診、カンファレンス
がん相談支援センターの活用	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)平日の8:30~17:00 面談又は電話相談
就労支援	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	市立病院かかりつけのがん患者 月1回 社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施
退院調整看護師の活用	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	がん患者・家族を対象に在宅への調整、 退院後、自宅への訪問を行っている。
さいたま浦和地区緩和医療研究会 を介しての地域連携	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	さいたま浦和地区の医療従事者を対象に年に2回、講演 や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔 の見える関係づくりをしている。
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん患者・家族の支援		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う。		4 がん検診の質の向上	
	5 在宅医療の推進		
	6 緩和ケアの充実		
	7 相談支援体制の活用		
	8 情報提供の充実		
事業の対象者		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
がん患者及びその家族			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	新規	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演を新規で取り入れる
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：(公社)埼玉県看護協会		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
看護職に対するがんについての全体研修並びに緩和ケア研修		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
1. 看護専門職として必要な看護実践能力の向上を図る 2. 緩和ケアに対する看護師の資質向上のため、必要な知識と高い技術を修得し、看護実践のための高い能力を身につけた看護師の育成を図る		4 がん検診の質の向上	
5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実		
7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実		
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者			
看護職			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
埼玉県保健医療部医療整備課委託事業（緩和ケア研修5日間 2クール）			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん患者に対する手術療法	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
がん患者に対する放射線療法	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
がん化学療法の基礎知識と看護	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
がん患者と家族の心のケア	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
がん患者の退院支援と地域連携	継続	① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
がん性疼痛の理解と看護	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
緩和ケア研修5日間 2クール	継続	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
口腔がん検診		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
市民に検診を受け、早期発見を諮ることで早期の治療を促す。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
さいたま市民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
東京歯科大学口腔外科、大宮歯科医師会、明海大学歯学部口腔外科			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
口腔がん検診	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	平成 29 年度実施予定
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①在宅緩和医療の支援管理体制の整備（麻薬・栄養療法・他薬物療法） ②市民の健康相談、受診勧奨（かかりつけ薬局・健康サポート薬局）		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①退院後にも在宅医療が継続して受けられるよう、麻薬、栄養療法、他剤による病状管理が可能でさいたま市内の保険薬局を把握。公表して市民の安心につなげる。 ②がん等についての健康相談を積極的に受け入れるかかりつけ薬局及び健康サポート薬局の育成。		4 がん検診の質の向上	
事業の対象者		5 在宅医療の推進	
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民		6 緩和ケアの充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用	
医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター		8 情報提供の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
新しい在宅医療支援薬局リストの作成	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	薬剤師会会員薬局
在宅医療支援薬局リストの配布『薬剤師のできる事』	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口等
在宅医療に関わる薬剤師の研修会	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	さいたま市薬剤師会会員の研修
かかりつけ薬局・健康サポート薬局の育成	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	日本薬剤師会、埼玉県薬剤師会との共同による育成研修
最近のがん薬剤の研修会	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	さいたま市薬剤師会会員とメーカーの共同による研修会の開催
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：さいたま市4医師会連絡協議会		平成 29 年度分	
事業名		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①がん検診の受診・経年受診の勧奨や啓発 ②がん検診の精度管理 ③在宅医療研修会等			2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①がん検診受診率の向上 ②検診実施医療機関参加による症例検討会や、医師会主催の医学会等を開催し、がん検診の精度管理に取り組む。 ③病診連携を充実する		4 がん検診の質の向上	5 在宅医療の推進
事業の対象者		6 緩和ケアの充実	7 相談支援体制の活用
市民、医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	
検診実施医療機関参加による症例検討会や、医師会主催の医学会等によるがん検診の精度管理	継続	1 2 3 ④ 5 6 7 8 9	
在宅医療研修会の開催	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
「医療・介護・福祉」の研修会の開催	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
病診連携研修会の開催	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
在宅医療・介護連携推進事業業務	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
がんセンター地域緩和ケア勉強会等の会員周知・受講推進	継続	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名 : Çava! ~さいたまBEC~		平成 29 年度分	
事業名		分野別 施策 (参考)	
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②体験者が安心して集まれる場所を提供する			
事業の目標			
①乳がんと告知された早い時期から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会を通し伝えていく事。 ②安心して集まれる場所を提供する事で、体験者同士が思いを共有し、孤独感から解放され、色々な事へのきっかけ作りをする。		1 がんに関する正しい知識の普及	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の対象者		3 がん検診の受診率の向上	4 がん検診の質の向上
乳がん体験者		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
月1度の体験者対象おしゃべり会	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
不定期再発転移の方のおしゃべり会	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
体験者対象のイベント各種	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名:さいたま労働基準監督署		平成 29 年度分	
事業名	①労働安全衛生法（受動喫煙防止対策）及び対策助成金制度の周知等 ②「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の周知等	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
①職場における受動喫煙防止対策を推進し、受動喫煙を受けている労働者の割合の低下を図る。 ②ガイドラインの周知により「治療と職業生活の両立支援を行うための環境整備」を進める。			3 がん検診の受診率の向上
事業の対象者			4 がん検診の質の向上
管内の事業場			5 在宅医療の推進
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			6 緩和ケアの充実
			7 相談支援体制の活用
			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続	1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	・労働衛生週間（10月1日～7日）、同準備期間（9月）における周知（同週間に係る説明会等を含む） ・対象者 事業主、産業保健担当者等
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続	1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	・年間予定数 約30回 ・対象者 事業主、人事労務・産業保健担当者等
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名:さいたま市社会福祉協議会		平成 29 年度分	
事業名 1 受動喫煙の防止 2 がん罹患者の職場復帰支援 3 相談支援体制の活用	分野別 施策 (参考)		1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標		2 受動喫煙の防止と禁煙	
1 受動喫煙による罹患防止に努める 2 がん罹患者の職場復帰に対する理解と支援に努める 3 産業医の面接・指導など相談支援体制の充実に努める		3 がん検診の受診率の向上	4 がん検診の質の向上
事業の対象者		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
本会従業者		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
産業医（関連する医師会）			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
敷地内での分煙	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	
罹患者への理解と業務の検討	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	
産業医との面接・指導	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：さいたま商工会議所女性会		平成 29 年度分		
事業名	分野別 施策 (参考)			1 がんに関する正しい知識の普及
がん検診の受診勧奨				2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上
会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。				4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者				
女性会会員				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など	
総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	新規	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	会員、会議開催時、約80人	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9		
取組の成果・感想など				
<p style="font-size: 1.2em; color: #c00000; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: #c00000; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>				

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 29 年度分	
事業名	・職員の健康管理、がんに関する知識普及	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標	・職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		2 受動喫煙の防止と禁煙
			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
			5 在宅医療の推進
			6 緩和ケアの充実
			7 相談支援体制の活用
			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者			
全職員、私学共済被扶養者			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
一般定期健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施（年2回の機会を提供）
特定業務従事者に対する健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	特定業務従事者を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施（配置換えの際及び6ヶ月以内ごとに1回定期的に実施）
特殊健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	該当職員を対象に法令に基づく特殊健康診断を実施（配置換えの際及び6ヶ月以内ごとに1回定期的に実施）
人間ドックの利用費用補助	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、人間ドック利用料の助成
郵送検診の実施	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施
緩和ケア研修会の開催	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年2回開催
化学療法研修会の開催	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	医療従事者を対象に化学療法に関する最新の知見を提供
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">（次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 29 年度分	
事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止、禁煙推進 ・最新知識、技術の習得支援 	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙によるがん罹患の防止に努める ・最新知識、技術の習得支援に努める 		2 受動喫煙の防止と禁煙
			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
			5 在宅医療の推進
			6 緩和ケアの充実
			7 相談支援体制の活用
			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者			
全職員、私学共済被扶養者、看護師			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	私学共済加入者に健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など）
喫煙者率調査の実施	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に定期的に喫煙の状況について調査を実施。現在、職員の約5%が喫煙。
敷地内全面禁煙	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている。
がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	希望職員に対し、資格取得にかかる費用の助成
臨床腫瘍学講義の実施	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開講している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: #d9534f; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: #d9534f; margin: 0;">（次回、平成30年2月ごろに記載させていただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 29 年度分	
事業名		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
・患者・市民向け知識普及	2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標	3 がん検診の受診率の向上		
・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
公開講座の開催	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	市民向けに公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている。年1回開催。
がんサロンの開催	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	がん患者や家族が療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを年6回開催（事前申込制）
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催。毎月1回開催（第3金曜日、事前予約制）
緩和ケア研修会の開催（再掲）	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年2回開催（地域の医療従事者も参加可能）
化学療法研修会の開催（再掲）	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	医療従事者を対象に化学療法に関する最新の知見を提供（地域の医療従事者も参加可能）
院内がん登録の公表	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表。
がん相談支援センターの開設	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	患者・家族等の医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応。
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">（次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		平成 29 年度分	
事業名 <ul style="list-style-type: none"> ・患者・市民向け知識普及 ・緩和ケア実践 		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める ・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める 			
事業の対象者			
外来患者、入院患者、患者家族、一般市民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
セカンドオピニオン外来の開設	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
緩和ケアチームを組織	継続	① 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：健康増進課		平成 29 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
がん対策推進講演会（対象：市民及び在宅療養関係者） がん患者就労相談 禁煙外来リスト配布	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①がんに関する正しい知識の普及 ②がん患者の療養生活の質の向上 ③がん患者等の就労支援の充実 ④禁煙についての情報発信		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
	6 緩和ケアの充実		
7 相談支援体制の活用		8 情報提供の充実	
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者			
市民、在宅療養関係者			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
さいたま市医師会、さいたま市歯科医師会、大宮公共職業安定所、さいたま市立病院、埼玉県社会保険労務士会、浦和社会保険労務士会			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん対策推進講演会 もし“がん”になったらどうする？	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	平成30年3月11日（土） 定員：市民・医療従事者90名
がん患者就労相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	月1回さいたま市立病院にて開催予定。 対象：さいたま市立病院に受診しているがん患者およびその家族
禁煙外来リスト配布	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	平成29年1月～配布を開始。残300部
地図情報システムへ禁煙外来医療機関の掲載	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	平成28年9月～掲載開始
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: large; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">（次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名：地域医療課		平成 29 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①医療機関情報の発信 ②埼玉県地域医療構想の推進	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①医療機関検索サイト医療なびの充実を図る。 ②病床機能の分化・連携、在宅医療の推進を図る。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
①市民 ②市内医療機関			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
医療なびの周知	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	市民、平成29年度通年
MSW研修会の開催	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	MSW等、未定
地域医療構想調整会議等の開催	新 規	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市内医療機関、未定
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：地域保健支援課		平成 29 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。		4 がん検診の質の向上	
事業の対象者		5 在宅医療の推進	
市民		6 緩和ケアの充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用	
各区保健センター、中央図書館、医師会		8 情報提供の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度初めて市のがん検診の対象になった市民、平成29年度の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市のがん検診の対象の市民、個別勧奨はがき：平成29年4月中旬発送予定、再勧奨はがき：平成29年9月下旬発送予定
市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市民、平成29年9月ほか実施予定
さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度20歳になった市民（新成人）平成30年成人式で実施予定
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者、1次検診受診報告日より4か月後
中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	平成29年10月実施予定
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: large; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名:いきいき長寿推進課		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
医療関係者、介護関係者、市民、行政			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
医療・介護関係者の研修	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
地域住民への普及啓発	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
医療・介護関係者の情報共有の支援	新規	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	新規	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：教育委員会学校教育部指導1課		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
市立全小・中学校の児童生徒			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
教育委員会学校教育部健康教育課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健学習の実施	継続	① ② 3 4 5 6 7 8 9	市立全小・中学校の児童生徒に対して確実に保健学習を行う。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：労働政策課		平成 29 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
労働相談		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
「ワークステーションさいたま」において、社会保険就労士による、特に女性を主な対象とした就労に関する相談の実施		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
勤労者（主に女性を対象）			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
社会保険労務士会			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
主に女性社会保険就労士による相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	労働に関する相談希望者、 H28.9～H29.2 4回 4名相談 ※がんに関する相談なし（平成29年2月末現在）
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名：西区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名	がん検診受診勧奨 がんについての啓発	1 がんに関する正しい知識の普及	
事業の目標		2 受動喫煙の防止と禁煙	
① がん検診を受診し、早期発見・治療につながる		3 がん検診の受診率の向上	
② がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアをすることができる	分野別 施策 (参考)	4 がん検診の質の向上	
③ 自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる		5 在宅医療の推進	
事業の対象者		6 緩和ケアの充実	
市民全般 市内在住のがん検診受診対象者及びその家族		7 相談支援体制の活用	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実	
JR東日本（指扇駅）		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	11月24日に指扇駅にて健診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定
女性のがんについての講話 (教室内)	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	幼児を持つ母を対象に講話。定員18組、年2回開催予定
がん精検未受診フォロー (女性のがん)	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	精密検査未受診の方に受診状況の確認受診勧奨の連絡
健康相談（随時）	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	来所、電話などがんについての相談を随時
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p>今回は記入不要です。 (次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：北区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名 ①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
事業の目標		2 受動喫煙の防止と禁煙	
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。		3 がん検診の受診率の向上	
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。		4 がん検診の質の向上	
事業の対象者		5 在宅医療の推進	
北区民		6 緩和ケアの充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用	
イトーヨーカドー大宮宮原店、児童センター、子育て支援センター等		8 情報提供の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	イトーヨーカドーの来店者、平成29年9月15日実施、
女性のがん検診啓発チラシの配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	母子保健事業の参加者、保健センター来所者、子育て支援センター来所者、通年実施、1200部発行
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター来所者
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	小学生の子を持つ保護者、平成29年6月25日、1月21日(各児童センターで実施)
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター等来所者、依頼時に実施
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: large; color: red; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名	がんの予防と早期発見の推進	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
<ul style="list-style-type: none"> がん予防の推進 がんの早期発見・早期治療の推進 			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
市民（大宮区民）		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
大宮区役所総務課、コミュニティ課、福祉課、課税課、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、民生委員、大宮アルデージャ			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
市報等によるがん検診受診勧奨	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市民、通年
大宮区役所内にてがん検診受診勧奨ポスター掲示	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	施設利用者、通年
健康相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	大宮区民、相談時適宜対応
がん検診の啓発グッズの作成ポスター、チラシ等	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	適宜
がん検診精検者未受診フォロー（乳がん、子宮がん精検未受診者）	継続	1 2 3 ④ 5 6 7 8 9	乳がん、子宮がん健診を受診し、判定区分が精密検査で未受診の者、通年
普及啓発活動（ツーロックキャンペーン、民生委員協議会、区民感謝デー、少年少女サッカー教室、検便会場、税申告会場）	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	大宮区民、H29年度中、未定
【商業施設におけるがん検診受診勧奨】 大宮高島屋にがん検診受診勧奨のアナウンス（H29.4～1日4回放送）	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	施設利用者、H29.4～H30.3
取組の成果・感想など			
<p>今回は記入不要です。 (次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：見沼区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙による健康被害の正しい知識の普及		分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①区民にがん検診の受け方の普及啓発を行うことで、検診の受診率向上を図る。 ②禁煙を考えるきっかけとなる。			4 がん検診の質の向上
			5 在宅医療の推進
			6 緩和ケアの充実
			7 相談支援体制の活用
			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者			
見沼区区民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
	継続		
教室の中でのがん検診勧奨	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者、約100名に勧奨
ポケットティッシュの配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者、見沼区ふれあいフェア来場者、約1000個配布
児童センターでの乳がん・子宮がんの健康教育	新規	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	児童センターの講座参加者（乳幼児を持つ保護者）
禁煙週間の取り組み（禁煙対策特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動）	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	保健センター利用者 平成29年5月31日～6月6日
禁煙相談・COモニター測定（呼気一酸化炭素濃度測定）	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙者の内、禁煙相談やCOモニター測定（呼気一酸化炭素濃度測定）の希望者（随時受付）
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p>今回は記入不要です。 (次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：中央区役所保健センター		平成 29 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診受診勧奨 ②がん発症予防	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上		
①がん検診を受け、早期発見を図ることで重症化を予防する。 ②がんを予防する生活習慣を知ること、がん発症のリスクを下げる。		4 がん検診の質の向上		
		5 在宅医療の推進		
事業の対象者		6 緩和ケアの充実		
		7 相談支援体制の活用		
①保健センター事業参加者 ②保健センター来所者 ③区内保育施設、公共交通機関利用者		8 情報提供の充実		
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
自治会、区内保育施設、公共交通機関				
取組の内容	新規 継続	分野別施策		対象者、実施日時、参加人数など
		(該当する数字に○)		
育児相談にて、がん検診等についてのパンフレット、ティッシュ配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象：育児相談参加者 実施日時：毎月2日間(育児相談) 参加人数：各月100名程度
インナーマッスル教室にて、がん検診受診について講話実施	新規	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象：教室参加者 実施日時：平成29年7月2日 参加人数：20名程度
ピラティスにて、子宮頸がんについて講話実施	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：教室参加者 実施日時：平成29年10月20日 参加人数：20名程度
アロマストレッチにて、がん検診受診について講話実施	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：教室参加者 実施日時：平成29年12月2日 参加人数：20名程度
児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施	新規	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：母乳授乳期以外の母親 実施日時：平成29年6月21日、7月11日、10月6日 参加人数：各15名程度
がん検診受診勧奨用ポスター掲示	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：区民、区役所、保健センター来所者 実施日時：平成29年10月～平成30年3月 掲示先：区内自治会、区内保育施設、区内公共交通機関(鉄道)、区役所、保健センター
がん検診受診勧奨用ティッシュ配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：①区民まつり参加者②区役所、保健センター来所者 実施日時：①平成29年11月②平成29年4月～平成30年3月 参加人数：①200人程度②来所者数
取組の成果・感想など				
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>				

各団体取組シート

団体名：桜区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名	①がん検診の受診勧奨 ②禁煙に関する普及啓発 ③女性特有のがんについての普及啓発	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標	①桜区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。 ③女性特有のがんについて、桜区民が乳がんの自己検診を実施し、がん検診を受けることで、早期発見を図り早期治療に結びつける。		3 がん検診の受診率の向上
事業の目標			4 がん検診の質の向上
事業の目標	①桜区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。 ③女性特有のがんについて、桜区民が乳がんの自己検診を実施し、がん検診を受けることで、早期発見を図り早期治療に結びつける。		5 在宅医療の推進
事業の目標			6 緩和ケアの充実
事業の目標	①桜区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。 ③女性特有のがんについて、桜区民が乳がんの自己検診を実施し、がん検診を受けることで、早期発見を図り早期治療に結びつける。		7 相談支援体制の活用
事業の目標			8 情報提供の充実
事業の目標	①桜区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。 ③女性特有のがんについて、桜区民が乳がんの自己検診を実施し、がん検診を受けることで、早期発見を図り早期治療に結びつける。		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の目標			
事業の対象者	桜区民		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	プラザウエスト 桜区図書館 記念総合体育館		
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	通年
保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	・5月17日 ・10月12日 ・10月31日
禁煙週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。保健センターで希望者にスモーカーライザーによる測定を実施。	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	5月31日～6月30日
乳がん月間に保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）プラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区民ふれあいまつりにて乳がん自己検診法についての啓発。女性向けの教室開催時に女性特有のがんについてのミニ講話を実施。	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	10月1日～31日
女性の健康週間に保健センター窓口・血圧測定コーナー（区役所1階・3階）等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	3月1日～8日
市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	5月・8月・10月・3月
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p style="color: red; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

各団体取組シート

団体名：浦和区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名 ①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳房自己触診の普及啓発		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の目標 ①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。 ③乳房自己触診の実施により、検診の受診意欲を高め、乳がん検診の受診率向上および異常の早期発見、早期治療につなげる。			
事業の対象者 保健センター及びさいたま市役所来庁者 教室参加者 浦和区健康まつり来場者			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体 総務課、アシスト浦和21（市民活動団体）、上木崎地区愛育会、さいたま市PTA協議会浦和区連合会、さいたま市私立幼稚園協会浦和区支部			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	上木崎地区愛育会主催育児学級 育児相談 20回/年 出産前教室3日目 12回/年
区内幼稚園の保護者向け教育で、乳房自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年2回
区内小中学校の保護者向け教育で、乳房自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年2回
区役所ロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	全開庁日
保健センターロビーにおいて、がん予防普及啓発掲示	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	全開庁日
浦和区健康まつりにおいて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	11月5日(日)
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、がん検診の普及啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年11回
取組の成果・感想など			
<p style="font-size: 1.2em; color: #c00000; margin: 0;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: #c00000; margin: 0;">(次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：南区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名		分野別施策（参考）	
①がん検診受診に関する啓発 ②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置 ③禁煙相談事業の実施			
事業の目標			
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。		1 がんに関する正しい知識の普及	
②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の対象者		3 がん検診の受診率の向上	
区民を中心とした市民 (イベントの場合は市外の場合もある)		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
ファイザー株式会社、武蔵浦和コミュニティセンター		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象は区内在住の30～40歳代の女性と概ね8kgのお子さんをもつ父と母、6月、10月、1月の3回、約70人
母子地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象は区内在住の乳幼児を持つ母、年2～3回 約30人
イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	武蔵浦和コミセンまつりに来場した区民または市民 12月の1回、約250人
庁舎内の健康啓発コーナーにおける、がん検診受診に関する啓発媒体の展示	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	年間を通じて実施。パネル展示・パンフレット等の配布、人数不明
禁煙相談の実施	継続	① ② 3 4 5 6 7 8 9	区内在住の禁煙希望者とその家族が対象。 月1回年12回開催、約5～10人
体組成測定会でのがん予防・検診PRコーナーの設置	新規	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区民または市民 4月、8月、10月、12月、2月の5回、各回30～40人
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p>今回は記入不要です。 (次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：緑区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②がんに関する正しい知識の普及		分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①市民ががん検診を受け早期発見を図ることで早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る			4 がん検診の質の向上
事業の対象者			5 在宅医療の推進
さいたま市民			6 緩和ケアの充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			7 相談支援体制の活用
区民課、区民まつり実行委員会			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
取組の内容	新規	分野別施策	
	継続	(該当する数字に○)	
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター主催の教室に参加した市民、年間を通じて、10~20名/回×21回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続	1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	緑区役所に来庁された市民、年間を通じて実施
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布、乳がん自己触診体験など	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	緑区役所に来庁された市民、10月14日に実施
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	緑区在住の市民、市報1月号に掲載
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p>今回は記入不要です。 (次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター		平成 29 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発		分野別 施策 (参 考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①がん検診受診率を上げる ②がん予防について、より多くの区民に情報提供する			4 がん検診の質の向上
事業の対象者			5 在宅医療の推進
岩槻区区民			6 緩和ケアの充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			7 相談支援体制の活用
区内公共施設、区内商業施設、区内公共交通機関、岩槻区役所コミュニティー課			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
取組の内容	新規	分野別施策	
	継続	(該当する数字に○)	
区報等へのがん検診受診勧奨記事の掲載	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	区報4月号 公民館報
区内施設等において、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	公共施設、商業施設、公共交通機関
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター事業等参加者
他機関主催イベント等での検診受診勧奨およびがん知識の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 ⑨	いわつき・夢・コンサート コミュニティセンターまつり やまぶきまつり
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果・感想など			
<p>今回は記入不要です。 (次回、平成30年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

議論のためのたたき台(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現」

- ①正しい知識に基づくがん予防の充実
- ②世界最高水準のがん医療の実現
- ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1)がんの1次予防(※)
- (2)がんの早期発見、がん検診(2次予防)

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療(※)
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)支持療法
- (5)希少がん、難治性がん(それぞれのがんの特性に応じた対策)(※)
- (6)病理診断
- (7)がんのリハビリテーション
- (8)がん登録
- (9)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア(※)
- (2)相談支援、情報提供
- (3)地域社会におけるがん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題(※)
- (5)ライフステージに応じたがん対策(小児・AYA世代、高齢者)

(※)重点的に取り組むべき分野

4. これらを支える基盤の整備

- (1)がん研究(※)
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. がん患者を含めた国民等の努力
- 2. 患者団体等との協力
- 3. 都道府県による計画の策定
- 4. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 5. ロードマップの作成
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

※第66回がん対策推進協議会の資料参照 (厚生労働省 健康局がん・疾病対策課)

事業実施報告書

1 事業名 さいたま市がん対策推進講演会「もし“がん”になったらどうする？」
～住み慣れた我が家で受けられる支援&ケアを知ろう～

2 日時 平成29年3月18日（土）14時00分から16時00分まで

3 会場 浦和コミュニティセンター第15集会室

4 主催 さいたま市

5 参加者数 78名（内 事務局9名）

7 当日タイムスケジュール

13:30 受付開始

14:00 開会

14:05 基調講演「がん患者の療養生活 病院から在宅へ」

講師 さいたま市立病院 院長 窪地 淳 氏

14:35 医師講演「がん患者在宅医療の実際～我が家で受けられる治療とは～」

講師 医療法人敬樹会ながくらクリニック 院長 長倉 芳樹 氏

15:05 休憩

15:10 看護師講演「がん患者在宅医療の実際

～在宅で生活するときのコツ“こころの宝箱を開けてみよう”～」

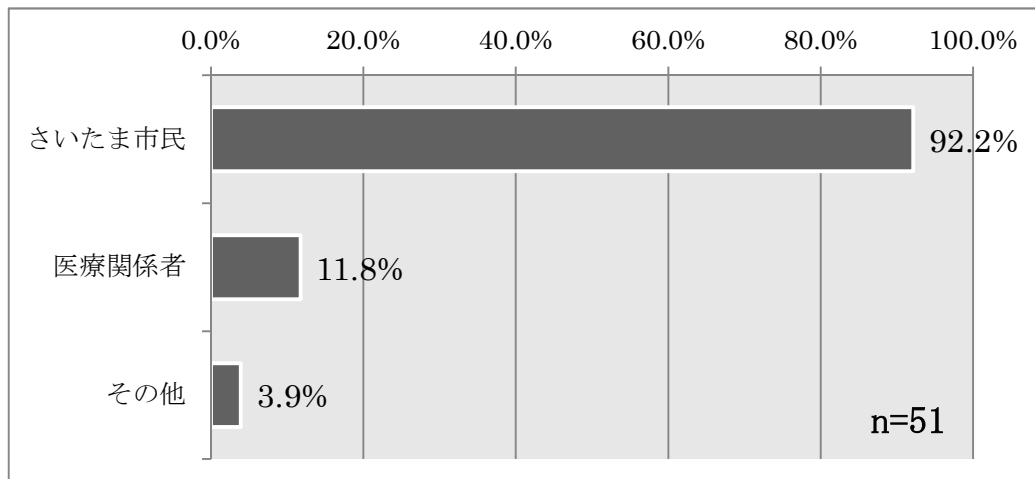
講師さいたま市社協訪問看護ステーションおおみや 知崎 聖子 氏

15:55 質疑応答

16:00 閉会

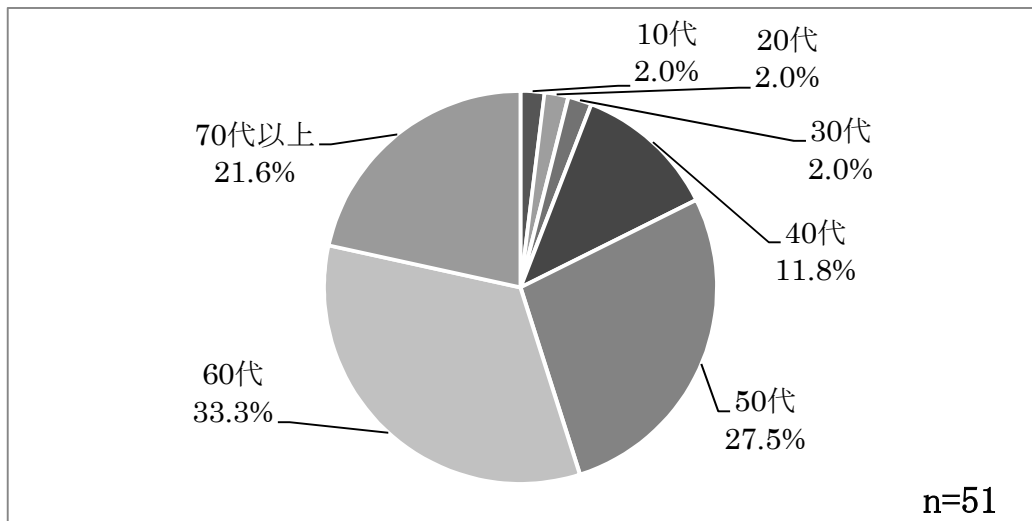
8 アンケート結果

Q1 あなた自身についてお答えください。[複数回答]

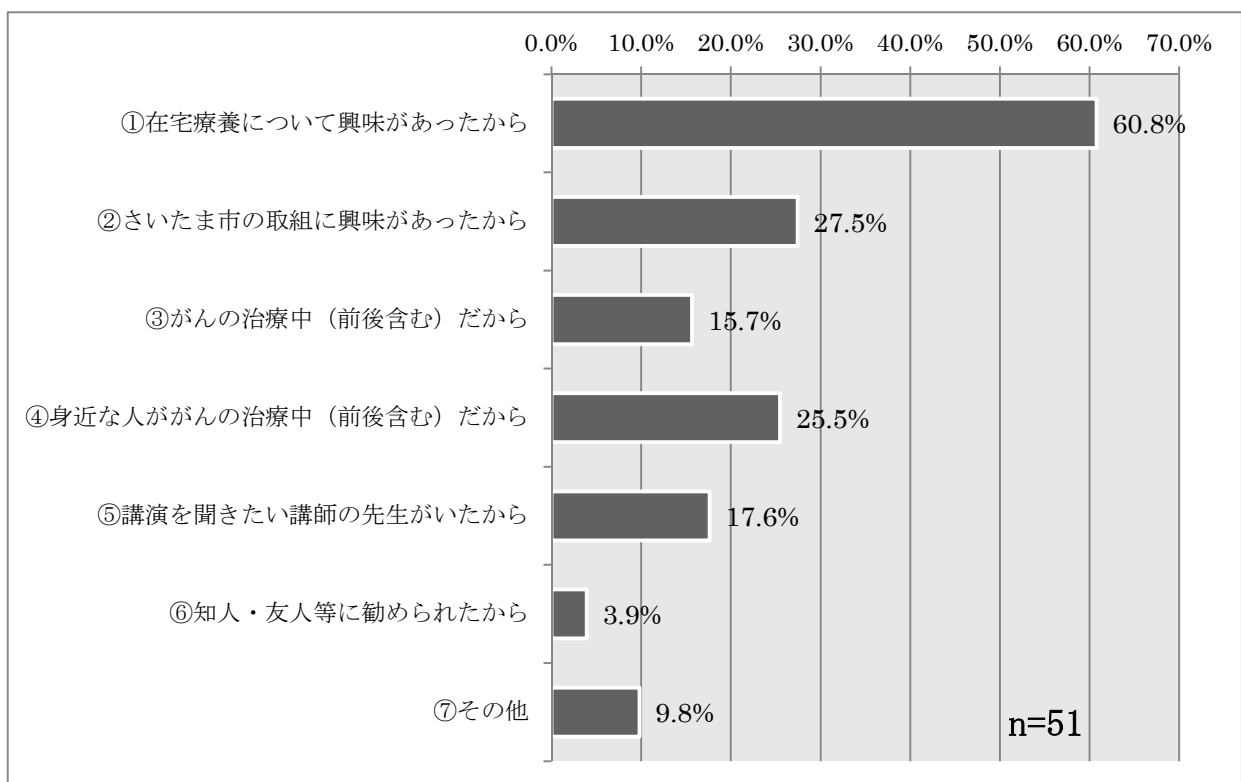


「その他」における主な回答：介護支援専門員

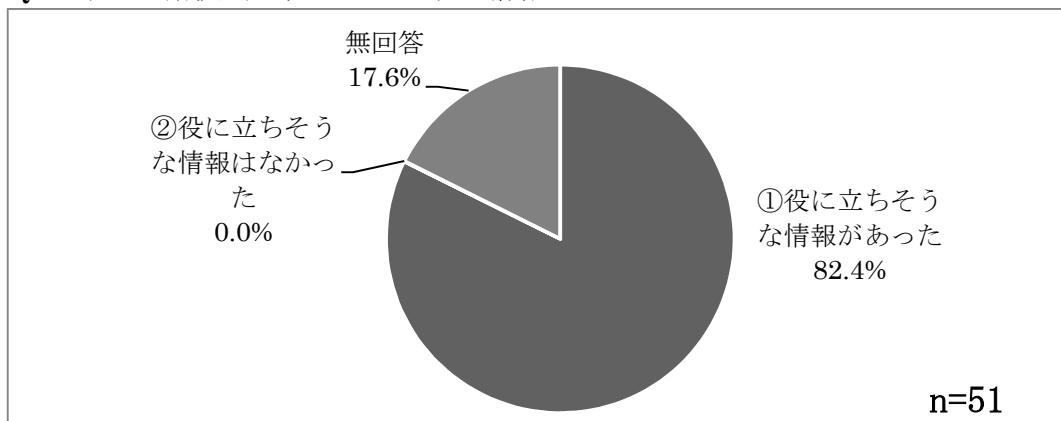
Q2 あなたの年代をお答えください。



Q3 本日の講演会に申し込まれた理由をお答えください。[複数回答]



Q4 本日の講演会で役に立ちそうな情報はありましたか

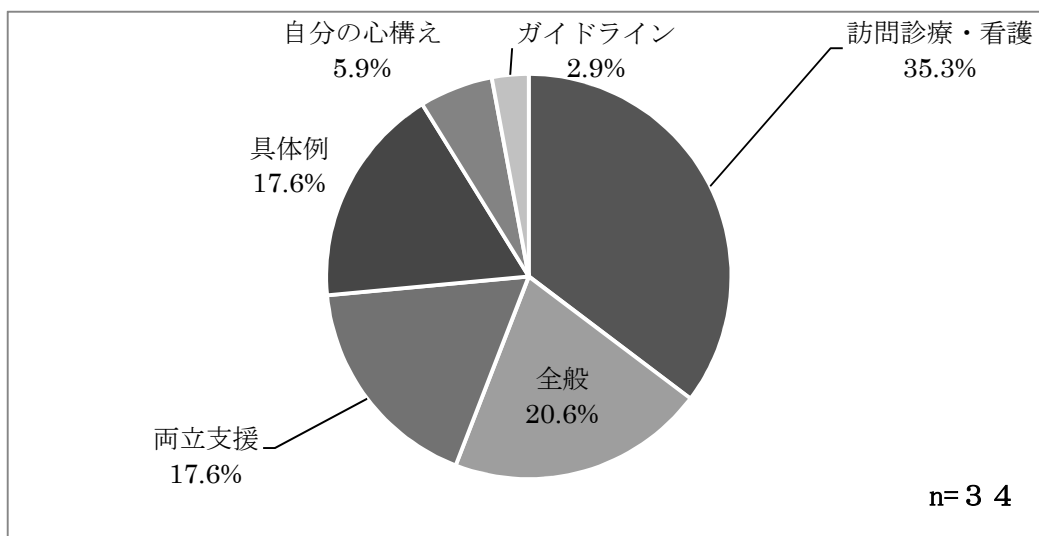


具体的に参考になった点

在宅療養で具体的にどんなことが行われているかという情報が得られて大変役に立ちました。どこに相談すればよいのかも役に立ちそうです。
在宅をお願いする時のルートがわかった。
現代では色々な種類の痛み止めがあり、PCA ポンプという物が在宅で使えてスイッチを押すと痛み止めの注射薬が体に入るといのが画期的だと思いました。
国、市の政策について。 死にゆく人とのかかわり、やりとり。
訪問看護っていいなあと思いました。
在宅診療
在宅療養の難しさ。家族の在り方。
最後の自分の気持ちの持ち方が参考になりました。
在宅治療ではどのようなことが行われるのか、どのようなことができるのかがわかった。
終末期の在宅ケアの様子を知ることができた。
訪問クリニックがあること
長倉クリニックのような所があることを知った。
がん患者にとって実用的なお話ばかりで、とてもありがたかった。安心して暮らしていけます。ありがとうございました。
在宅での生活。
在宅医療機関がある事を知った。
自宅療養のがん患者との接し方。
自宅でできる治療の内容について。 自宅療養の実態。 患者本人の心の持ち方。
在宅療養について。 診療に関わる医師や訪問看護の情報 変化している治療等について
がんの基本的な知識から在宅医療の知識、看取りの心がまえなど、全体的に勉強になりました。知崎先生の話は心にきました。
家族が全てきめてしまうのではなくできるだけ本人に決めてもらうという話が勉強になりました。
私も 70 歳を過ぎてこの話に近づいているので。
在宅療養の実際「我が家で受けられる治療」の単元と「がん患者在宅医療の実際」の単元が特に詳しく分

かり勉強になりました。ありがとうございました。
在宅医療でもらえることが多くあるということが参考になりました。
訪問看護師の経験が伝わって在宅医療も不安だけではないと感じました。
がんだけでなく家で元気に生活するには介護者がいない人はどうするか。訪問看護ステーションの利用等。
訪問看護の診療所があるのを知り安心しました。がんに限らず退院した後に心強いと思いました。
在宅療養の意義と可能性
在宅での生活のコツ
我が家で受けられる治療
ケアの実態
在宅医療の現状が良くわかったように思います。在宅で受けられる具体的な治療や心構えなどとても参考になりました。
在宅医療クリニックの調べ方
各講演それぞれ役に立つお話ばかりでした。知崎管理者の講演で、在宅で看取る、看取っていくための考え方、色々と教えていただいたように思います。
「在宅診療支援診療所」とは24時間往診に来ていただけるとの説明を受けたこと。

「具体的に参考になった点」分類結果（全体・未記入除く）



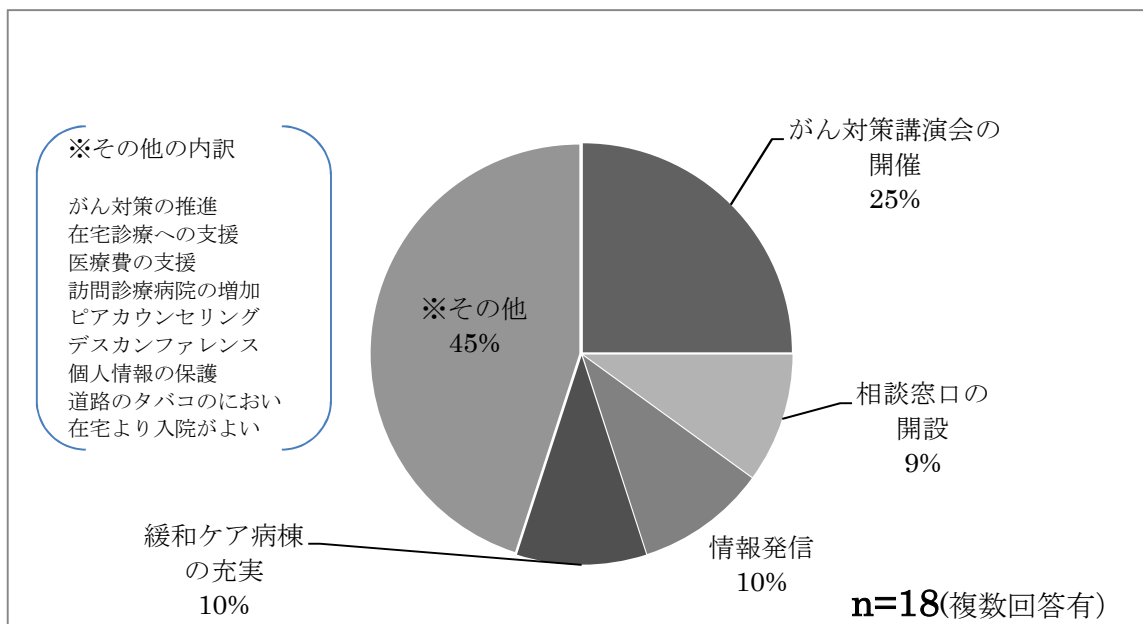
別表：属性による分類（単位：人）

参考になった点	全体	再掲) がん治療 (前・中・後)	再掲) 身近な人ががん
訪問診療・看護	12	1	5
全般	7	2	2
両立支援	6	2	1
具体例	6	1	1
自分の心構え	2	1	0
ガイドライン	1	0	0

Q5 がん患者への支援について、さいたま市に期待することはありますか

本日の講演会、またお伺いしたいと思います。どうもありがとうございました。
市民全員がこのような支援があることを知れるように講演会を開いてほしい。
一般の方（患者、家族含め）に対して、在宅で受けられる支援について広く知ってもらえる機会を多く作ってほしいです。
医療に関する個人情報保護の意識を高めていただきたい。市から病院、クリニック等への指導をお願いしたい。
緩和ケア（特に精神的な事、うつ状態、心配事など）が相談できる窓口があるといいと思います。食事に関しても相談できるといいと思います。
道路のタバコのおいが非常に息苦しく歩行困難になる。
患者向け相談窓口の充実を図ってほしい。 在宅以外の終末期を過ごす場所（緩和ケア病棟）の充実と探し方を知らせてほしい。
在宅支援など定期的に講演を行ってほしい。
見沼区での在宅医療、緩和ケアの状況を知りたい。
時々これをPRしてほしい。市の広報やチラシなどで周知してもらえると心強いです。
<ul style="list-style-type: none">・がん患者同士のピアカウンセリング・がん患者を看取った支援者、家族が自分の看取りを住民へ話す機会「デスカンファレンス」の開催・在宅医療を行う診療所をたくさんほしい。特に岩槻地区。訪看も少ない。
緩和ケア病棟の増床と充実を希望します。
緩和ケア病棟の増床を。
<ul style="list-style-type: none">・医療費などの支援を充実してほしい。・在宅を進めているので市では現場の医師や看護師などの支援を厚くしてほしい（在宅医療の医師が増えたらいいと思う）。
がん対策推進よろしくをお願いします。
終末医療の在宅の話が中心であったが、治療のための在宅医療の話を聞きたかった。
在宅医療をやっている病院（クリニック）がもっと増えると良いと思います。
在宅より入院ができる方が良い。

「さいたま市に期待すること」 分類結果



別表：属性による分類（単位：人）【複数回答】

さいたま市に期待すること	全体	再掲) がん治療中 (前・中・後)	再掲) 身近な人ががん
がん対策講演会の開催	5	1	2
相談窓口の開設	2	0	1
情報発信	2	2	1
緩和ケア病棟の充実	2	0	0
※その他	9	1 (道路のタバコにおいて)	1 (個人情報の保護)

アピアランス支援センター見学についての報告書

日時：平成29年5月2日（火） 13:00～15:00

場所：国立がん研究センター中央病院

出張者：橋詰係長、伴田主任、河野主事

1、アピアランス支援センターについて

がんの治療に伴う、外見の悩みに対応して、患者さんの「生きる」を支援する部門として国立がん研究センター中央病院内に2013年4月から開設された。

センターでのプログラムは別紙参照。

2、見学スケジュール

13:00～14:00 ①『治療の副作用による外見の変化が気になる方へ』

抗がん剤等による脱毛や肌、爪の変化への対応を学ぶプログラム
(コスメティックインフォメーション)にて参加

14:00～15:00 ②『アピアランス支援の情報や考え方について』

講師(①②とも)： 国立がん研究センター中央病院

アピアランス支援センター長 野澤 桂子氏

3、①について

患者本人とその家族・付添人に説明。説明内容は以下の3点を柱に、紙芝居を使用して説明する。

- ・ 外見の変化が起きる仕組み
- ・ 髪の毛や眉毛が抜けたとき・肌や爪に変化が起きたときの対応
- ・ ウィッグの金額や付け方等

説明後には、実際にウィッグを付けたり、簡単なメイクなどで参加者に体験してもらったり、個別での質問を受ける時間を設けている。

所感

参加者に不安をあおるようなことは言わず、ファッションとして楽しんでもらうように他の患者の写真や体験談を交えながら説明されており、プログラム開始時には、緊張していた参加者が、プログラム終了時には笑顔が多く見られた。

②について

①のプログラムに参加後、野澤氏よりヘアランス支援の情報や考え方について、以下の内容について説明を受ける。

- ・外見に関するケアも社会とつながるための方法のひとつであること
- ・患者の外見の変化の心配を減らすための方法の一つとしてウィッグがあること
- ・行政によるウィッグの費用助成がある等

患者が大きな悩みとして抱えているのは『社会とのつながり』である

家族や友人、職場等での人間関係に影響がでることを恐れ、精神的に落ち込んでしまう人も多くいる。外見のケアを社会に対してのコミュニケーション手段の一つとして考えてもらえるように、また、ファッションとして楽しんでもらえるもの、として周知ができれば気軽に利用する人が増えると思われる。

ウィッグの金額

レンタルの場合：費用1日300円、1か月1万円程度

購入する場合：7,000円～30万円程度

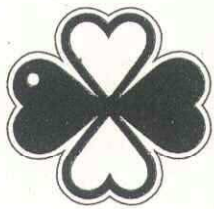
※金額で性能に大きな差はなく、メーカー（ブランド）によって金額に差が生まれることが多い。選ぶ際は金額より、“自分が似合うと思うもの”を購入することが望ましい。

参考【抗がん剤治療による副作用の苦痛度ランキング】

（国立がん研究センター中央病院ホームページ参照）

	男性		女性
1	全身の痛み	1	頭髪の脱毛
2	吐き気	2	吐き気
3	発熱	3	しびれ
4	口内炎	4	全身の痛み
5	しびれ	5	便秘
6	便秘	6	まつ毛の脱毛
7	下痢	7	だるさ
8	頭痛	8	まゆ毛の脱毛
9	だるさ	9	足の爪がはがれた
10	足のむくみ	10	味覚障害

“外見”に関する悩み



orange clover



「自分らしくいること 元気であるコト!」

外見の変化でご不安の方は、是非ご参加ください!
詳しくは、外来看護師・アピアランス支援センタースタッフにお問い合わせください。

コスメティックインフォメーション

治療の副作用による 外見の変化が気になる方へ

外見変化への対処方法をお知らせする楽しいプログラムです。

予約
不要

- 外見変化がおきるしくみについて
- 髪の毛や眉毛が抜けたとき
- 肌や爪に変化がおきたとき
- 60個以上のウィッグ(男女)で遊んでみよう・・・など

男性・小児も
OKです。

開催日時：毎週火曜日・木曜日 13時～14時

場所：アピアランス支援センター (1階 眼科・小児科外来の前)

男性限定 外見ケア相談

抗がん剤治療の副作用による脱毛や手術跡などの
外見変化について、男性向けの対処方法を
お知らせするプログラムです。

予約
不要

- ウィック(カツラ)以外の方法を知りたい方
- 治療をしながら仕事を続けたい方
- 爪の割れや変色でお困りの方
- 治療による外見変化について、どうすればよいか分からない方

開催日時：毎月第4水曜日 13時～15時

場所：アピアランス支援センター (1階 眼科・小児科外来の前)

個別相談

- 電話または直接センターでご予約ください。

予約制です

- 外見が変化したときの家族対応・職場復帰・旅行・卒業式・結婚式など、
日常からライフイベントまで応援します。

電話予約受付時間：平日 10時～16時

03-3547-5201 (内線 2522)・センター予約受付時間 月～木:12時～13時

場所：アピアランス支援センターまたは病棟にて ■当院の患者さんは無料です。

自由見学時間

- 月～木：12時～13時を開放しています。

- ウィッグ(男性・女性)や皮膚変色をカバーする化粧品を試したり、人工乳房や
エビテナーゼなど、外見の変化に対応するさまざまな物品を自由に見ることができ
ます。また、各種ご質問も受けつけています。

コスメティックインフォメーション

～治療の副作用による外見の変化が気になる方へ～

コスメティックインフォメーションは、
脱毛や肌や爪の変化への対応をみんなで学ぶ楽しいプログラムです

開催日：毎週 火曜日・木曜日 13:00開始

時間：約1時間

場所：アピアランス支援センター
(1階 眼科・小児科外来の前)

※ 予約不要：12:55までにご集合ください。

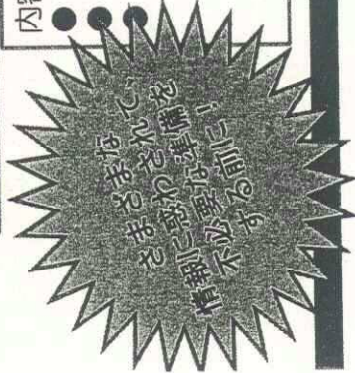
内容

- 副作用で外見に変化のおこるしくみ
- 髪の毛やまつげが抜けた時の対処方法
- 肌や爪にトラブルが出た時の対処方法 … などなど

60個以上あるウィッグから、
楽しく遊びながら試着もできます。
脱毛など外見変化が心配な方はぜひご参加ください！



orange clover



がんに関する情報

がん対策の推進

さいたま市がん対策推進計画
 がん対策等に関する事業所実態調査の結果を報告します
 さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例
 さいたま市がん対策推進協議会
 がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた協定の締結について
 骨髄バンクのドナー登録をお願いします
 骨髄移植の提供者（ドナー）に助成費を交付します。
 健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定の締結について

緩和ケア

・外部リンク等募集中

がん医療

がん診療連携拠点病院のご案内

がんの予防及び早期発見

がん検診等のご案内
 がんリスクチェック（外部ページリンク）
 口腔がんをご存知ですか？
 乳がん検診と乳がんセルフチェック

がんと向き合う・相談する ****別紙参照****

がん相談ホットライン（外部ページリンク）
 闘病記で生きる力を～がんに向き合うために あなたに役立つ500冊～
 がん患者会・患者サロン、患者支援団体等について
 「埼玉県がんサポートハンドブック（地域の療養情報）」（埼玉県ウェブサイト）
 希少がんホットライン（外部ページリンク）
 「がん治療と仕事の両立支援のポイント」（埼玉県ウェブサイト）
 がん患者サロン「はなみずき会」
 がん相談支援センターをご利用ください

がんに関する統計

がん登録について
 がん検診受診状況
 がん平均生存率算出システム（外部ページリンク）

人生のできごとから探す

妊娠 出産	育児 子育て	入学 教育	住まい 引越し
就職 仕事	結婚 離婚	高齢 介護	死亡 相続

イベント情報

イベント



4月30日（日曜日）にさいたまダービーが開催されます！
 NACK5スタジアム大宮

がんと向き合う・相談する

がん相談ホットライン（外部ページリンク）… がんについての
電話相談口

闘病記で生きる力を～がんに向き合うために あなたに役立つ

500冊～ … 市民活動団体が選定した図書に基づき作成した
がんに関する闘病記のリスト

がん患者会・患者サロン、患者支援団体等について… 各団体名や
問い合わせ先等を掲載
(11団体) (17団体) (5団体)

「埼玉県がんサポートハンドブック（地域の療養情報）」

（埼玉県ウェブサイト）… がんと診断されたり、治療を受けるときに
役立つ情報を掲載

希少がんホットライン（外部ページリンク）… 国立がん研究センター・
希少がんセンターによる
電話相談口

「がん治療と仕事の両立支援のポイント」（埼玉県ウェブ

サイト）… 事業者向けとして、従業員ががんになった時に
備えておくべきがんの基礎知識や
従業員が復職する際のがん治療と仕事の両立支援に向けて留意点

がん患者サロン「はなみずき会」… さいたま市立病院の患者サロン

がん相談支援センターをご利用ください

- … ●がん診療連携拠点病院
国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター
- 埼玉県がん診療指定病院
埼玉メディカルセンター
彩の国東大宮メディカルセンター のリンク